

輸血業務・輸血製剤年間使用量に関する総合的調査報告書

2010 年 03 月

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会

目 次

1. 2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量調査報告

【1】輸血業務・血液製剤年間使用量基本調査

1) 必須項目	03
2) 管理体制について	05
3) 輸血副作用の報告体制について	20
4) 輸血療法委員会について	21
5) 輸血製剤の適正使用について	25
6) 輸血療法の実績について	27
7) 貯血式自己血輸血について	37
8) 血液法及び薬事法、指針の改訂について	48
9) 次年度調査の回答方法について	49

【2】アルブミン製剤の使用量等に関する調査

1) 管理体制について	50
2) 使用製剤について	51

【3】インフォームド・コンセントに関する調査

1) インフォームド・コンセントの実施について	56
-------------------------	----

2. 2009 年輸血業務に関する詳細調査報告

【4】輸血業務に関する詳細調査

1) はじめに	60
2) 輸血療法関連の診療報酬体系について	61
3) 輸血副作用について	62
4) 輸血前後の感染症検査について	74
A 輸血と HBV 感染について	86
B 輸血と HCV 感染について	88
C 輸血と HIV 感染について	91
D ヘモビジュランスシステム(輸血患者の感染症伝播や副作用の全国監視体制)について	93
5) 血液センターの集約化について	93
6) 定点観測アンケート調査(洗浄置換・置換血小板について)	103
7) 手術時輸血製剤詳細調査	106
8) 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査	106

2009 年 輸血業務・血液製剤年間使用量調査報告

2010 年 03 月 26 日

回答数（集計対象数）

（１）アンケート依頼施設数

7762 施設

輸血業務・血液製剤年間使用量調査回答施設

2332 施設（30.04%）

内訳

Web 1565 施設（67.11%）

手書き 767 施設（32.89%）

（別紙 1）自己血における細菌感染の症例

4 施設

7 症例

【1】 輸血業務・血液製剤年間使用量基本調査

1) 必須項目

1-1.病床数を記入して下さい(必須入力)

番号	項目	回答数	比率
1	0 床	82	3.52%
2	1 床～20 床未満	18	0.77%
3	20 床～100 床未満	784	33.62%
4	100 床～200 床未満	634	27.19%
5	200 床～300 床未満	244	10.46%
6	300 床～400 床未満	211	9.05%
7	400 床～500 床未満	130	5.57%
8	500 床～600 床未満	83	3.56%
9	600 床～700 床未満	62	2.66%
10	700 床～800 床未満	27	1.16%
11	800 床～900 床未満	24	1.03%
12	900 床～1000 床未満	12	0.51%
13	1000 床以上	21	0.90%
	合計	2332	

1-2. 貴院の病院の種類はどれに該当しますか(必須入力)

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	大学病院	0	0.00%	17	1.01%	3	0.88%	67	29.26%	87	3.73%
2	大学病院の分院	0	0.00%	7	0.42%	12	3.52%	6	2.62%	25	1.07%
3	国立病院機構・医療センター	0	0.00%	16	0.95%	43	12.61%	12	5.24%	71	3.04%
4	公立・自治体病院	2	2.24%	235	13.99%	109	31.96%	67	29.26%	413	17.71%
5	社会保険関連病院	0	0.00%	30	1.79%	11	3.23%	6	2.62%	47	2.02%
6	医療法人関連病院	58	70.73%	966	57.50%	90	26.39%	27	11.79%	1141	48.93%
7	個人病院	12	14.63%	216	12.86%	13	3.81%	3	1.31%	244	10.46%
8	その他	10	12.20%	193	11.49%	60	17.60%	41	17.90%	304	13.04%
	合計	82		1680		341		229		2332	

1-3. 貴院は DPC 取得病院ですか(必須入力)

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	2.44%	257	15.30%	230	67.45%	210	91.70%	699	29.97%
2	いいえ	80	97.56%	1423	84.70%	111	32.55%	19	8.30%	1633	70.03%
	合計	82		1680		341		229		2332	

1-4. 過去1年間(2009年1月～2009年12月)で、輸血用血液製剤、血漿分画製剤を使用しましたか(必須入力)

番号	項目	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	20	24.39%	1428	85.00%	336	98.53%	228	99.56%	2012	86.28%
2	いいえ	62	75.61%	252	15.00%	5	1.47%	1	0.44%	320	13.72%
	合計	82		1680		341		229		2332	

2) 管理体制について

1-5.輸血業務(製剤管理と輸血検査)の管理部門はどこですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	47	3.26%	60	18.13%	146	64.32%	253	12.64%
2	検査部門	606	42.00%	194	58.61%	71	31.28%	871	43.53%
3	薬剤部門	119	8.25%	2	0.60%	1	0.44%	122	6.10%
4	検査部門と薬剤部門	582	40.33%	75	22.66%	9	3.96%	666	33.28%
5	その他	89	6.17%	0	0.00%	0	0.00%	89	4.45%
	合計	1443		331		227		2001	

1-6.輸血検査・輸血用血液を同一部署で一元管理する体制がとられていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	一元管理している	972	67.88%	302	90.42%	222	97.80%	1496	75.06%
2	一元管理できてない	460	32.12%	32	9.58%	5	2.20%	497	24.94%
	合計	1432		334		227		1993	

1-7.輸血用血液を管理されている部門は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	51	3.55%	68	20.30%	145	63.60%	264	13.19%
2	検査部門	902	62.73%	235	70.15%	77	33.77%	1214	60.67%
3	薬剤部門	321	22.32%	25	7.46%	5	2.19%	351	17.54%
4	検査部門と薬剤部門	78	5.42%	7	2.09%	1	0.44%	86	4.30%
5	その他	86	5.98%	0	0.00%	0	0.00%	86	4.30%
	合計	1438		335		228		2001	

1-8.輸血責任医師(輸血業務担当や責任者として病院等から任命されている医師)はいますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	34	2.36%	24	7.19%	80	35.09%	138	6.90%
2	いる(兼任)	759	52.74%	261	78.14%	137	60.09%	1157	57.82%
3	いない	646	44.89%	49	14.67%	11	4.82%	706	35.28%
	合計	1439		334		228		2001	

1-9.問 1-8 で(1)又は(2)の場合、輸血責任医師(専任、兼任)の現在の所属診療科は何科ですか 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部(科)	6	0.77%	6	2.12%	72	33.18%	84	6.57%
2	検査部(科)	17	2.18%	26	9.19%	18	8.29%	61	4.77%
3	消化器内科	112	14.38%	14	4.95%	2	0.92%	128	10.01%
4	循環器内科	51	6.55%	9	3.18%	4	1.84%	64	5.00%
5	呼吸器内科	33	4.24%	7	2.47%	0	0.00%	40	3.13%
6	血液内科	68	8.73%	78	27.56%	108	49.77%	254	19.86%
7	その他内科	146	18.74%	19	6.71%	7	3.23%	172	13.45%
8	小児科	10	1.28%	5	1.77%	4	1.84%	19	1.49%
9	消化器外科	130	16.69%	27	9.54%	3	1.38%	160	12.51%
10	心臓血管外科	20	2.57%	16	5.65%	9	4.15%	45	3.52%
11	呼吸器外科	12	1.54%	8	2.83%	4	1.84%	24	1.88%
12	その他外科	113	14.51%	25	8.83%	11	5.07%	149	11.65%
13	整形外科	70	8.99%	14	4.95%	5	2.30%	89	6.96%
14	泌尿器科	20	2.57%	9	3.18%	0	0.00%	29	2.27%
15	産婦人科	29	3.72%	12	4.24%	2	0.92%	43	3.36%
16	麻酔科・救急科・集中治療科	57	7.32%	28	9.89%	15	6.91%	100	7.82%
17	その他	29	3.72%	13	4.59%	2	0.92%	44	3.44%
	回答施設合計	779		283		217		1279	

1-10.問 1-8 で(1)又は(2)の場合、輸血責任医師は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全員が日本輸血・細胞治療学会認定医である	10	1.33%	8	2.97%	69	32.70%	87	7.06%
2	一部の者が認定医である	10	1.33%	6	2.23%	16	7.58%	32	2.60%
3	全員日本輸血・細胞治療学会認定医ではない	733	97.34%	255	94.80%	126	59.72%	1114	90.35%
	合計	753		269		211		1233	

1-11.施設内に輸血責任医師以外に日本輸血・細胞治療学会認定医はいますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	7	0.52%	10	3.13%	52	23.42%	69	3.64%
2	いない	1349	99.48%	309	96.87%	170	76.58%	1828	96.36%
	合計	1356		319		222		1897	

「(1)いる」場合、人数を整数で記入して下さい

人数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 人	4	7	37	48
2 人	1	2	11	14
3 人	1		4	5
施設数	6	9	52	67

1-12.貴施設に臨床検査技師(衛生検査技師)はいますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1328	92.29%	334	99.70%	228	100.00%	1890	94.41%
2	いいえ	111	7.71%	1	0.30%	0	0.00%	112	5.59%
	合計	1439		335		228		2002	

1-13.輸血検査業務全体を担当し責任を持つ臨床検査技師「輸血担当技師」はいますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる（専任）	82	6.21%	155	46.41%	188	82.46%	425	22.57%
2	いる（兼任）	940	71.16%	166	49.70%	37	16.23%	1143	60.70%
3	いない	299	22.63%	13	3.89%	3	1.32%	315	16.73%
	合計	1321		334		228		1883	

1-14.問 1-13 で(1)又は(2)の場合、「輸血担当技師」は、日本輸血・細胞治療学会認定技師ですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	全員が認定技師である	11	1.08%	22	6.98%	21	9.33%	54	3.47%
2	一部の者が認定技師である	69	6.80%	110	34.92%	165	73.33%	344	22.12%
3	全員認定技師ではない	935	92.12%	183	58.10%	39	17.33%	1157	74.41%
	合計	1015		315		225		1555	

1-15.施設内に「輸血担当技師」以外に日本輸血・細胞治療学会認定技師はいますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	23	1.79%	49	14.98%	88	39.11%	160	8.70%
2	いない	1265	98.21%	278	85.02%	137	60.89%	1680	91.30%
	合計	1288		327		225		1840	

「(1)いる」場合、人数を整数で記入して下さい

人数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 人	12	41	54	107
2 人	5	3	20	28
3 人		4	8	12
4 人	1		3	4
5 人	1	1	1	3
6 人			1	1
施設数	14	49	87	155

1-16.輸血業務を実施している臨床検査技師数(1 日平均)

【日勤】

人数	専任				兼任			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	85	125	41	251	650	165	54	869
1.1～2.0 人	13	32	62	107	278	40	18	336
2.1～3.0 人	3	8	45	56	106	21	3	130
3.1～4.0 人		1	22	23	67	4	2	73
4.1～5.0 人	1	1	10	12	24	3	1	28
5.1～6.0 人			7	7	10			10
6.1～7.0 人	1		4	5	8	1	1	10
7.1～8.0 人			5	5	2	1		3
8.1～9.0 人			2	2	3			3
9.1～10.0 人			1	1	3			3
10.0～20.0 人					5	2	1	8
20 人以上						1		1
施設数	103	167	199	469	1156	238	80	1474

人数	非常勤			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	80	14	21	115
1.1～2.0 人	10	1	2	13
2.1～3.0 人	1		2	3
3.1～4.0 人				
4.1～5.0 人				
5.1～6.0 人		1		1
施設数	91	16	25	132

【夜間休日】

人数	専任				兼任			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	17	11	36	64	711	269	130	1110
1.1～2.0 人	2		2	4	64	10	39	113
2.1～3.0 人			2	2	21	2	6	29
3.1～4.0 人			1	1	10			10
4.1～5.0 人					6			6
5.1～6.0 人					5			5
6.1～7.0 人					3	1		4
7.1～8.0 人			1	1	5	2		7
8.1～9.0 人					1			1
9.1～10.0 人						1	1	2
10.0～20.0 人					6	7	4	17
20 人以上						3		3
施設数	19	11	42	72	832	295	180	1307

人数	非常勤			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	29	4	5	38
1.1～2.0 人		2	1	3
施設数	29	6	6	41

1-17.輸血業務の専門性を考慮し、技師の人事異動を最小限にする配慮をしていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	543	45.71%	214	67.08%	154	69.37%	911	52.69%
2	いいえ	645	54.29%	105	32.92%	68	30.63%	818	47.31%
	合計	1188		319		222		1729	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

1-18.医療機関関係者は「輸血責任医師」および「輸血担当技師」が指摘する輸血医療に関する発言等を尊重するように、院内のコンセンサスの確保に努めていますか。

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	739	63.00%	220	70.29%	187	83.86%	1146	67.06%
2	いいえ	434	37.00%	93	29.71%	36	16.14%	563	32.94%
	合計	1173		313		223		1709	

1-19.「輸血担当技師」が、主治医等からの血液発注量が各種指針に準拠せず、多かった場合等に、「輸血責任医師」及び「輸血療法委員会等委員長」と協議し、その結果を踏まえ、「輸血責任医師」又は「輸血担当技師」が、主治医に対して使用量が多いことを指摘し、双方、十分な協議のもと理解を得た上で改善を促す体制にありますか。

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	470	39.30%	187	58.81%	154	70.64%	811	46.82%
2	いいえ	726	60.70%	131	41.19%	64	29.36%	921	53.18%
	合計	1196		318		218		1732	

1-20.輸血関連業務(血液製剤管理、血漿分画製剤管理など)担当の薬剤師数(1 日平均)

人数	専任				兼任			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	36	21	23	80	783	198	94	1075
1.1～2.0 人	6	2	1	9	183	33	12	228
2.1～3.0 人	1	1	2	5	76	11	3	90
3.1～4.0 人	1			1	44	3	3	50
4.1～5.0 人	2		1	3	29	2	2	33
5.1～6.0 人					10			10
6.1～7.0 人					3	1		4
7.1～8.0 人					2	3	2	7
8.1～9.0 人					4			4
9.1～10.0 人					1	2		3
10.0 人以上					2	3	6	11
施設数	47	24	27	98	1137	256	122	1515

人数	非常勤			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	53	8	5	66
1.1～2.0 人	6		1	7
2.1～3.0 人	6			6
3.1～4.0 人			1	1
施設数	65	8	7	80

1-21.輸血療法に伴う事故の防止対策、輸血実施手順を病院内で決定し実施していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	防止対策は輸血療法委員会等で検討しマニュアルも作成し実施している	1020	73.43%	313	94.85%	216	96.00%	1549	79.68%
2	防止対策は輸血療法委員会等で決めているがマニュアルは作成していない	45	3.24%	3	0.91%	0	0.00%	48	2.47%
3	防止対策については、院内での決定事項はなく、看護手順などにもりこみ実施している	254	18.29%	8	2.42%	9	4.00%	271	13.94%
4	防止対策についての院内で統一した取り組みはなく、個々の医師、看護師に任されている	70	5.04%	6	1.82%	0	0.00%	76	3.91%
	合計	1389		330		225		1944	

1-22.輸血療法に関する院内マニュアルはありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1183	83.43%	321	96.98%	221	97.79%	1725	87.34%
2	いいえ	235	16.57%	10	3.02%	5	2.21%	250	12.66%
	合計	1418		331		226		1975	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

1-23.問 1-22 で「(1)はい」の場合、院内マニュアルに輸血前感染症検査、輸血前患者検体保管、輸血後感染症検査に関する事項が含まれていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	770	66.38%	248	78.48%	185	85.25%	1203	71.06%
2	いいえ	390	33.62%	68	21.52%	32	14.75%	490	28.94%
	合計	1160		316		217		1693	

1-24.問 1-23 で「(2)いいえ」の場合、輸血前感染症検査・輸血後感染症検査に関するマニュアルが別にありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	35	9.14%	14	21.21%	9	29.03%	58	12.08%
2	いいえ	348	90.86%	52	78.79%	22	70.97%	422	87.92%
	合計	383		66		31		480	

1-25.輸血前に、輸血(特定生物由来製品)による感染等被害救済制度について説明していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	書面を用いて説明している	163	72.44%	185	56.40%	163	72.44%	921	47.65%
2	口頭で説明している	6	2.67%	11	3.35%	6	2.67%	102	5.28%
3	主治医に任せているのでわからない	43	19.11%	111	33.84%	43	19.11%	670	34.66%
4	説明していない	12	5.33%	19	5.79%	12	5.33%	226	11.69%
5	その他	1	0.44%	2	0.61%	1	0.44%	14	0.72%
	合計			328		225		1933	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

1-26.輸血前に、輸血前感染症検査、輸血前検体保存、輸血後感染症検査を行うことを説明し、同意を得ていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	書面を用いて説明し、同意書を得ている	756	55.22%	229	69.82%	192	85.33%	1177	61.24%
2	書面を用いて説明し、口頭による同意を得ている	33	2.41%	7	2.13%	7	3.11%	47	2.45%
3	口頭で説明し、同意書を得ている	47	3.43%	8	2.44%	2	0.89%	57	2.97%
4	口頭で説明し、口頭による同意を得ている	31	2.26%	5	1.52%	1	0.44%	37	1.93%
5	主治医に任せているのでわからない	307	22.43%	57	17.38%	18	8.00%	382	19.88%
6	説明や同意はとっていない	156	11.40%	16	4.88%	3	1.33%	175	9.11%
7	その他	39	2.85%	6	1.83%	2	0.89%	47	2.45%
	合計	1369		328		225		1922	

1-27.遡及調査のガイドラインに沿って輸血前感染症検査を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前検査として独立して、原則として全ての症例で行っている	281	20.29%	67	20.36%	61	26.87%	409	21.07%
2	輸血前検査として独立して、症例によって行っている	83	5.99%	25	7.60%	23	10.13%	131	6.75%
3	入院時検査や術前検査と合わせて行っている	835	60.29%	202	61.40%	124	54.63%	1161	59.81%
4	行っていない	186	13.43%	35	10.64%	19	8.37%	240	12.36%
	合計	1385		329		227		1941	

1-28 遡及調査のガイドラインに沿って輸血後感染症検査を行なっていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則として全ての症例で行っている	346	25.72%	102	31.97%	89	39.38%	537	28.41%
2	症例によって行っている	613	45.58%	157	49.22%	114	50.44%	884	46.77%
3	行っていない	386	28.70%	60	18.81%	23	10.18%	469	24.81%
	合計	1345		319		226		1890	

「(3)行っていない」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-28 詳細.xls を参照

1-29.輸血時、携帯端末等を用いてベッドサイドで患者と血液製剤の認証を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	107	7.66%	90	27.03%	124	54.39%	321	16.39%
2	利用していない	1283	91.84%	240	72.07%	89	39.04%	1612	82.33%
3	一部の病棟で利用している	7	0.50%	3	0.90%	15	6.58%	25	1.28%
	合計	1397		333		228		1958	

1-30.輸血用血液の依頼にオーダーリングシステムを利用していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	172	12.19%	136	41.09%	167	73.57%	475	24.12%
2	利用していない	1204	85.33%	176	53.17%	50	22.03%	1430	72.63%
3	導入を予定している	35	2.48%	19	5.74%	10	4.41%	64	3.25%
	合計	1411		331		227		1969	

1-31.輸血検査の依頼にオーダーリングシステムを利用していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	245	17.38%	193	57.78%	203	89.04%	641	32.51%
2	利用していない	1133	80.35%	128	38.32%	18	7.89%	1279	64.86%
3	導入を予定している	32	2.27%	13	3.89%	7	3.07%	52	2.64%
	合計	1410		334		228		1972	

1-32.輸血用血液の入庫・出庫管理にコンピュータを利用していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	408	28.85%	292	87.69%	224	98.25%	924	46.78%
2	利用していない	986	69.73%	37	11.11%	4	1.75%	1027	52.00%
3	導入を予定している	20	1.41%	4	1.20%	0	0.00%	24	1.22%
	合計	1414		333		228		1975	

1-33. 日常勤務時間帯の輸血検査を主に担当するのは

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	37	2.60%	82	24.55%	143	62.72%	262	13.19%
2	検査部門の臨床検査技師	1087	76.28%	234	70.06%	71	31.14%	1392	70.06%
3	輸血部門と検査部門合同の臨床検査技師	56	3.93%	11	3.29%	14	6.14%	81	4.08%
4	院内の検査センター技師	45	3.16%	6	1.80%	0	0.00%	51	2.57%
5	院外の検査センター職員	151	10.60%	1	0.30%	0	0.00%	152	7.65%
6	担当医	21	1.47%	0	0.00%	0	0.00%	21	1.06%
7	看護師	17	1.19%	0	0.00%	0	0.00%	17	0.86%
8	その他	11	0.77%	0	0.00%	0	0.00%	11	0.55%
	合計	1425		334				1987	

1-34. 夜間・休日の輸血検査を主に担当するのは

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	13	0.92%	5	1.50%	15	6.64%	33	1.68%
2	検査部門の臨床検査技師	1020	72.55%	264	79.28%	91	40.27%	1375	69.97%
3	輸血部門と検査部門合同の臨床検査技師	54	3.84%	46	13.81%	113	50.00%	213	10.84%
4	院内の検査センター技師	32	2.28%	13	3.90%	4	1.77%	49	2.49%
5	院外の検査センター職員	153	10.88%	2	0.60%	0	0.00%	155	7.89%
6	担当医	43	3.06%	1	0.30%	1	0.44%	45	2.29%
7	看護師	26	1.85%	0	0.00%	0	0.00%	26	1.32%
8	その他	65	4.62%	2	0.60%	2	0.88%	69	3.51%
	合計	1406		333		226		1965	

1-35. 夜間・休日の輸血検査体制について

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	臨床検査技師による日当直体制	178	12.70%	241	72.16%	215	94.71%	634	32.30%
2	臨床検査技師のオンコール体制	956	68.19%	86	25.75%	10	4.41%	1052	53.59%
3	医師・看護師が担当する体制	88	6.28%	1	0.30%	0	0.00%	89	4.53%
4	その他	180	12.84%	6	1.80%	2	0.88%	188	9.58%
	合計	1402		334		227		1963	

1-36. 血液型検査で行っているのは 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	抗 A、抗 B 抗血清による ABO 型オモテ検査	1395	99.43%	334	100.00%	226	100.00%	1955	99.59%
2	A 血球、B 血球を用いたウラ検査	1236	88.10%	328	98.20%	225	99.56%	1789	91.14%
3	抗 D 抗血清を用いた D 抗原検査	1303	92.87%	330	98.80%	226	100.00%	1859	94.70%
	回答施設合計	1403		334		226		1963	

1-37. 交差適合試験で行っている方法は 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	のせガラス法	55	3.96%	1	0.30%	0	0.00%	56	2.87%
2	生食法	1078	77.55%	220	66.07%	149	66.22%	1447	74.28%
3	酵素法	744	53.53%	156	46.85%	89	39.56%	989	50.77%
4	間接クームス法	1205	86.69%	289	86.79%	207	92.00%	1701	87.32%
5	カード法	132	9.50%	82	24.62%	64	28.44%	278	14.27%
	回答施設合計	1390		333		225		1948	

1-38.輸血検査に自動輸血検査機器を利用していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	利用している	93	6.75%	140	42.30%	195	86.28%	428	22.12%
2	利用していない	1273	92.38%	173	52.27%	27	11.95%	1473	76.12%
3	導入を予定している	12	0.87%	18	5.44%	4	1.77%	34	1.76%
	合計	1378		331		226		1935	

1-39.血液型検査は、同一患者の異なる時点での 2 検体で検査を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則行っている	758	55.09%	268	80.72%	201	89.33%	1227	63.48%
2	行っていない	618	44.91%	64	19.28%	24	10.67%	706	36.52%
	合計	1376		332		225		1933	

1-40.血液型を確定する際に主治医による判定を使用していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	124	8.97%	5	1.52%	8	3.52%	137	7.06%
2	一部使用している	90	6.51%	15	4.55%	14	6.17%	119	6.13%
3	使用していない	1169	84.53%	310	93.94%	205	90.31%	1684	86.80%
	合計	1383		330		227		1940	

1-41.年間 2009 年(1 月～12 月)に検査技師以外の職員が交差試験を行って、赤血球輸血を施行した症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	50	3.52%	3	0.91%	4	1.79%	57	2.89%
2	ない	1354	95.42%	325	98.78%	220	98.21%	1899	96.30%
3	不明	15	1.06%	1	0.30%	0	0.00%	16	0.81%
	合計	1419		329		224		1972	

1-42.緊急輸血時には O 型 RCC-LR を、交差試験を省略して使用していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	41	2.96%	90	27.36%	154	67.84%	285	14.67%
2	使用していない	968	69.79%	77	23.40%	19	8.37%	1064	54.76%
3	未だ使用していないが、マニュアルで使用を明記	378	27.25%	162	49.24%	54	23.79%	594	30.57%
	合計	1387		329		227		1943	

1-43. 血液センター、検査機関等へ外注している特殊検査で何か問題のある項目はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	問題のある項目がある	138	9.99%	47	14.46%	26	11.93%	211	10.97%
2	問題のある項目はない	1243	90.01%	278	85.54%	192	88.07%	1713	89.03%
	合計	1381		325		218		1924	

1-44.問 1-43 で「(1)問題のある項目がある」の場合、項目はなんですか 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	副作用精査（不規則抗体、HLA 抗体、血小板抗体、細菌培養など）	86	63.24%	33	70.21%	20	76.92%	139	66.51%
2	HLA typing	9	6.62%	12	25.53%	5	19.23%	26	12.44%
3	特殊な血液型の精査（ABO 式、Rh 式、その他）	92	67.65%	33	70.21%	14	53.85%	139	66.51%
4	その他	6	4.41%	2	4.26%	1	3.85%	9	4.31%
	回答施設合計	136		47		26		209	

1-45 血液製剤の不活化についてご存じですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	よく知っている	558	40.58%	190	59.19%	164	73.87%	912	47.55%
2	ほとんど知らない	723	52.58%	115	35.83%	55	24.77%	893	46.56%
3	聞いたことがない	94	6.84%	16	4.98%	3	1.35%	113	5.89%
	合計	1375		321		222		1918	

1-46. 血液製剤専用放射線照射装置を設置していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	X 線血液製剤照射装置を設置している	20	1.43%	45	13.89%	72	32.00%	137	7.05%
2	γ 線血液製剤照射装置を設置している	8	0.57%	6	1.85%	52	23.11%	66	3.40%
3	いいえ	1366	97.99%	273	84.26%	101	44.89%	1740	89.55%
	合計	1394		324		225		1943	

3) 輸血副作用の報告体制について

1-47. 輸血用血液による副作用の報告システムについて

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	74	5.34%	93	28.44%	160	70.80%	327	16.86%
2	薬剤部門に報告する体制	122	8.80%	12	3.67%	2	0.88%	136	7.01%
3	検査部門に報告する体制	436	31.43%	164	50.15%	50	22.12%	650	33.51%
4	輸血療法委員会に報告する体制	305	21.99%	32	9.79%	12	5.31%	349	17.99%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	136	9.81%	5	1.53%	1	0.44%	142	7.32%
6	主治医がカルテに記載するのみ	203	14.64%	8	2.45%	1	0.44%	212	10.93%
7	副作用の報告体制がない	87	6.27%	6	1.83%	0	0.00%	93	4.79%
8	その他	24	1.73%	7	2.14%	0	0.00%	31	1.60%
	合計	1387		327		226		1940	

1-48. 輸血副作用発生症例を血液センターへ報告されていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	報告のあった症例は原則としてすべてセンターへ報告している	268	20.24%	29	8.92%	6	2.67%	303	16.17%
2	中等度以上の副作用症例のみ報告している	176	13.29%	110	33.85%	87	38.67%	373	19.90%
3	通常はセンターへ報告していない	625	47.21%	166	51.08%	122	54.22%	913	48.72%
	合計	1324		325		225		1874	

1-49.血漿分画製剤による副作用の報告システムについて

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門に報告する体制	45	3.43%	25	8.12%	32	15.02%	102	5.57%
2	薬剤部門に報告する体制	376	28.68%	158	51.30%	119	55.87%	653	35.64%
3	検査部門に報告する体制	154	11.75%	32	10.39%	10	4.69%	196	10.70%
4	輸血療法委員会に報告する体制	247	18.84%	25	8.12%	7	3.29%	279	15.23%
5	リスクマネジメント委員会等に報告する体制	123	9.38%	8	2.60%	6	2.82%	137	7.48%
6	主治医がカルテに記載するのみ	201	15.33%	19	6.17%	4	1.88%	224	12.23%
7	副作用の報告体制がない	121	9.23%	30	9.74%	21	9.86%	172	9.39%
8	その他	44	3.36%	11	3.57%	14	6.57%	69	3.77%
	合計	1311		308		213		1832	

4) 輸血療法委員会について

1-50.輸血療法委員会又は同様の機能を持つ委員会はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	999	70.75%	318	96.66%	223	98.67%	1540	78.29%
2	いいえ	388	27.48%	11	3.34%	3	1.33%	402	20.44%
3	その他	25	1.77%	0	0.00%	0	0.00%	25	1.27%
	合計	1412		329		226		1967	

1-51.輸血療法委員会等の委員長は医療機関管理者又は外科系医師(麻酔科を含む)ですか。

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	767	68.79%	236	73.98%	138	61.88%	1141	68.86%
2	いいえ	348	31.21%	83	26.02%	85	38.12%	516	31.14%
	合計	1115		319		223		1657	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

1-52.輸血療法委員会等の委員会に、輸血が必要な症例の多い診療科の責任者を参加させていますか。

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	806	73.54%	281	88.64%	219	96.90%	1306	79.68%
2	いいえ	290	26.46%	36	11.36%	7	3.10%	333	20.32%
	合計	1096		317		226		1639	

1-53.輸血療法委員会の 2009 年(1 月～12 月)の年間開催回数は

回数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0 回	96	9		105
1 回	77	10	2	89
2 回	75	12	7	94
3 回	51	10	5	66
4 回	69	22	8	99
5 回	24	9	4	37
6 回	379	190	153	722
7 回	11	9	5	25
8 回	13	6	4	23
9 回	8	5	2	15
10 回	17	6	6	29
11 回	21	9	16	46
12 回	224	23	11	258
13 回	1			1
14 回	1			1
施設数	1067	320	223	1610

1-54.委員の出席率は何%でしょうか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ 100%	281	27.88%	25	8.12%	13	5.75%	319	20.69%
2	81～99%	444	44.05%	112	36.36%	65	28.76%	621	40.27%
3	61～80%	200	19.84%	127	41.23%	115	50.88%	442	28.66%
4	41～60%	49	4.86%	39	12.66%	29	12.83%	117	7.59%
5	21～40%	7	0.69%	3	0.97%	4	1.77%	14	0.91%
6	0～20%	27	2.68%	2	0.65%	0	0.00%	29	1.88%
	合計	1008		308		226		1542	

1-55.輸血療法委員会で実施している項目は 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤（主に、赤血球製剤、新鮮凍結血漿、アルブミン製剤、血小板製剤）の使用状況について、診療科ごとに比較検討している。	635	65.46%	269	85.67%	199	89.24%	1103	73.19%
2	毎月、診療科ごとの発注量、使用量、廃棄量等を各診療科の長に配布し、診療科内に掲示している。	206	21.24%	82	26.11%	59	26.46%	347	23.03%
3	血液製剤ごとに、月次、年次の使用量の比較・分析を行うとともに、他医療機関と比較検討及び評価している。	210	21.65%	106	33.76%	98	43.95%	414	27.47%
4	各種指針の遵守状況について、各科から報告・検討するとともに、当該医療機関での解決が難しい場合、合同輸血療法委員会等に照会している。	75	7.73%	32	10.19%	36	16.14%	143	9.49%
5	輸血実施症例の検討と使用指針に基づいた評価を行っている。	295	30.41%	100	31.85%	100	44.84%	495	32.85%
6	必要に応じて、保険診療での査定状況も症例毎に検討している。	160	16.49%	84	26.75%	74	33.18%	318	21.10%
7	輸血検査（血液型、不規則抗体、交差適合試験等）の方法について、輸血の安全性を高めるために適宜見直している。	421	43.40%	161	51.27%	122	54.71%	704	46.72%
8	輸血実施時の手順について、マニュアル通りに実施されているかどうかを監査している。	379	39.07%	106	33.76%	88	39.46%	573	38.02%
9	輸血療法に伴う事故・副作用等について、各部署毎の状況を把握して具体的対策を講じている。	443	45.67%	169	53.82%	153	68.61%	765	50.76%
10	輸血関連情報の伝達について、個々の医療従事者へ直接伝達する方法がある。	450	46.39%	152	48.41%	128	57.40%	730	48.44%
11	自己血輸血の実施方法について、成分採血やフィブリン糊の導入を検討したことがある。	30	3.09%	21	6.69%	44	19.73%	95	6.30%
12	輸血療法委員会議事録の院内への周知について、特に医師に周知されたことを確認している。	288	29.69%	83	26.43%	59	26.46%	430	28.53%
	回答施設合計	970		314		223		1507	

1-56.病院会議等への報告は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	737	70.19%	263	84.29%	209	93.30%	1209	76.23%
2	していない	313	29.81%	49	15.71%	15	6.70%	377	23.77%
	合計	1050		312		224		1586	

5) 輸血製剤の適正使用について

1-57.輸血製剤の適正使用に関する、病院としての取り組みは

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる。	584	42.66%	215	65.95%	186	83.78%	985	51.38%
2	レセプト減点になるものについてのみ、指導している。	69	5.04%	17	5.21%	10	4.50%	96	5.01%
3	病院全体での取組はなく、個々の医師にまかされている。	716	52.30%	94	28.83%	26	11.71%	836	43.61%
	合計	1369		326		222		1917	

1-58.輸血製剤の適正使用を浸透させるために行った具体的な取り組みは 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	マニュアルの配布	894	77.60%	249	82.18%	187	84.62%	1330	79.36%
2	輸血前・後の評価システム導入	98	8.51%	23	7.59%	18	8.14%	139	8.29%
3	アンケート実施	34	2.95%	20	6.60%	23	10.41%	77	4.59%
4	院内使用指針の改定	418	36.28%	128	42.24%	100	45.25%	646	38.54%
5	輸血療法委員会の回数増加	134	11.63%	61	20.13%	49	22.17%	244	14.56%
6	血漿分画製剤の輸血部門への移管	29	2.52%	29	9.57%	48	21.72%	106	6.32%
7	専任の輸血責任医師の任命	47	4.08%	45	14.85%	68	30.77%	160	9.55%
8	専任の輸血担当技師の任命	36	3.13%	55	18.15%	76	34.39%	167	9.96%
9	医療保険委員会への参加	26	2.26%	8	2.64%	10	4.52%	44	2.63%
10	その他	109	9.46%	30	9.90%	29	13.12%	168	10.02%
	回答施設合計	1152		303		221		1676	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-58 詳細.xls を参照

6) 輸血療法の実績について

1-59.年間 2009 年(1 月～12 月)の輸血実施患者数は (* 同一疾患、同一患者に対する輸血は 1 名と計算して下さい)

輸血実施患者数							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	同種血のみ	1315	1	1665	92.67	121860	126.16
	自己血のみ	475	1	511	28.09	13344	49.75
	同種血、自己血併用	168	1	186	7.21	1211	22.13
	合計	1169	1	1744	107.16	125266	139.59
300～499 床	同種血のみ	299	1	2995	435.44	130197	386.80
	自己血のみ	260	1	395	62.65	16290	64.86
	同種血、自己血併用	172	1	128	8.52	1466	16.15
	合計	288	1	3010	498.80	143653	422.61
500 床以上	同種血のみ	193	1	7313	1151.53	222245	1144.80
	自己血のみ	192	2	648	163.75	31440	126.95
	同種血、自己血併用	166	1	180	18.80	3121	21.13
	合計	195	2	7831	1354.27	264082	1175.67
全体	同種血のみ	1807	1	7313	262.48	474302	534.80
	自己血のみ	927	1	648	65.88	61074	92.14
	同種血、自己血併用	506	1	186	11.46	5798	20.56
	合計	1652	1	7831	322.64	533001	609.29

1-60.製剤別血液製剤使用量

製剤別血液製剤使用量（単位）							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤／単位	300 床以下	26	1	52	15.88	413	13.08
	300～499 床	4	1	11	3.75	15	4.86
	500 床以上	9	2	42	11.89	107	13.08
	全体	39	1	52	13.78	535	12.84
赤血球製剤／単位	300 床以下	1315	1	8873	482.22	634118	650.51
	300～499 床	325	6	20858	2436.78	791954	2159.45
	500 床以上	223	6	23396	7558.91	1685638	4285.44
	全体	1863	1	23396	1670.27	3111710	2924.37
血小板製剤／単位	300 床以下	882	1	64345	584.36	515406	2596.86
	300～499 床	309	2	38000	3595.20	1110916	5209.47
	500 床以上	218	10	163845	16143.32	3519244	15569.42
	全体	1409	1	163845	3651.93	5145566	8807.37
新鮮凍結血漿／単位	300 床以下	774	1.5	6425.5	228.85	177126.5	494.83
	300～499 床	303	3.0	31323.0	1349.87	409011.7	2629.52
	500 床以上	220	9.0	48517.0	5124.65	1127422.4	5133.38
	全体	1297	1.5	48517.0	1321.17	1713560.6	3062.47
自己血／単位	300 床以下	473	1	2304	95.03	44951	182.09
	300～499 床	279	2	1048	211.04	58881	199.22
	500 床以上	215	8	2734	573.20	123239	462.70
	全体	967	1	2734	234.82	227071	332.06
アルブミン製剤／g	300 床以下	1025	1.0	292625.0	3310.50	3393267.3	10124.97
	300～499 床	291	8.6	231359.0	14707.69	4279937.4	17661.38
	500 床以上	210	75.0	256525.0	46339.66	9731329.0	39992.07
	全体	1526	1.0	292625.0	11405.33	17404533.7	23696.50
免疫グロブリン製剤／g	300 床以下	728	0.5	9182.5	353.00	256984.7	709.65
	300～499 床	234	2.9	13550.0	1325.72	310219.4	1401.61
	500 床以上	157	280	84084.0	7518.84	1180457.8	11692.43
	全体	1119	0.5	84084.0	1561.81	1747661.9	5075.39

* アルブミン製剤（血漿蛋白製剤も含む）、免疫グロブリン製剤はgに換算し記入して下さい

* FFP-LR-1 は 1.5 単位、FFP-LR-2 は 3 単位として計算して下さい

* 自己血は赤血球成分を単位数に換算して記入下さい

製剤別血液製剤使用量（袋／本）							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤（袋／本）	300 床以下	24	1	68	12	288	14.58
	300～499 床	4	1	6	2.25	9	2.50
	500 床以上	9	1	22	6.22	56	6.72
	全体	37	1	68	9.54	353	12.61
赤血球製剤（袋／本）	300 床以下	1221	1	4567	256.06	312649	344.51
	300～499 床	302	5	10613	1269.74	383461	1129.97
	500 床以上	211	4	11814	4002.15	844453	2235.43
	全体	1734	1	11814	888.44	1540563	1548.67
血小板製剤（袋／本）	300 床以下	818	1	5024	53.66	43896	223.75
	300～499 床	289	1	3700	335.58	96983	482.72
	500 床以上	208	1	16292	1515.45	315214	1497.31
	全体	1315	1	16292	346.84	456093	839.70
新鮮凍結血漿（袋／本）	300 床以下	704	1	2142	76.36	53755	164.38
	300～499 床	283	1	9300	418.38	118401	784.21
	500 床以上	208	3	10473	1640.03	341126	1474.49
	全体	1195	1	10473	429.52	513282	931.08
自己血（袋／本）	300 床以下	446	1	1230	51.42	22935	100.77
	300～499 床	266	2	524	112.97	30049	107.74
	500 床以上	204	5	1389	304.21	62058	237.87
	全体	916	1	1389	125.59	115042	175.20

【特別集計：病床数あたりの製剤使用量】

病床数あたりの製剤別血液製剤使用量（単位） （計算式：製剤別血液製剤使用量÷病床数）							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤／単位	300 床以下	26	0.0080	1.7000	0.2574	6.6926	0.3844
	300～499 床	4	0.0030	0.0244	0.0090	0.0358	0.0103
	500 床以上	9	0.0024	0.0486	0.0165	0.1486	0.0160
	全体	39	0.0024	1.7000	0.1800	6.8770	0.3328
赤血球製剤／単位	300 床以下	1296	0.0044	116.6667	3.7827	4902.3159	5.0186
	300～499 床	325	0.0200	51.1225	6.3784	2072.9902	5.1341
	500 床以上	223	0.0106	35.1106	10.4584	2332.2140	4.4866
	全体	1844	0.0044	116.6667	5.0475	9307.5201	5.4531
血小板製剤／単位	300 床以下	877	0.0044	278.5498	3.8246	3354.1751	13.2662
	300～499 床	309	0.0054	96.5484	9.3258	2881.6670	13.3085
	500 床以上	218	0.0178	251.6820	22.1995	4839.4844	21.2916
	全体	1404	0.0044	278.5498	7.8884	11075.3265	16.1705
新鮮凍結血漿／単位	300 床以下	773	0.0083	130.0000	1.5518	1199.5363	5.3296
	300～499 床	303	0.0079	76.7721	3.4909	1057.7522	6.3233
	500 床以上	220	0.0180	50.7500	6.7025	1474.5588	5.2019
	全体	1296	0.0079	130.0000	2.8795	3731.8473	5.8700
自己血／単位	300 床以下	472	0.004	30.3158	0.7172	338.5092	1.8379
	300～499 床	279	0.0066	3.2467	0.5544	154.6659	0.5139
	500 床以上	215	0.0159	3.0092	0.8018	172.3921	0.5871
	全体	966	0.0040	30.3158	0.6890	665.5672	1.3453
アルブミン製剤／g	300 床以下	1022	0.0119	1441.5025	25.5540	26116.1969	63.5689
	300～499 床	291	0.0261	593.2282	38.5679	11223.2693	44.6488
	500 床以上	210	0.1497	493.3173	63.5446	13344.3629	51.8904
	全体	1523	0.0119	1441.5025	33.2789	50683.8291	60.2679
免疫グロブリン製剤／g	300 床以下	727	0.0029	76.0000	2.6660	1938.1547	6.0400
	300～499 床	234	0.0088	36.0372	3.4670	811.2840	3.5395
	500 床以上	157	0.5147	138.7525	10.2597	1610.7666	16.4296
	全体	1118	0.0029	138.7525	3.9000	4360.2053	8.4106

【特別集計：実施患者あたりの製剤使用量】

実施患者あたりの製剤別血液製剤使用量（単位） （計算式：製剤別血液製剤使用量÷実施患者数（合計））							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤／単位	300 床以下	20	0.0147	4.0000	1.4014	28.0287	1.2575
	300～499 床	4	0.0006	0.0165	0.0095	0.0379	0.0079
	500 床以上	8	0.0021	0.0284	0.0107	0.0852	0.0092
	全体	32	0.0006	4.0000	0.8797	28.1518	1.1990
赤血球製剤／単位	300 床以下	1114	0.1404	200.0000	5.3455	5954.9160	7.7444
	300～499 床	287	0.7021	112.1111	5.5973	1606.4299	6.7070
	500 床以上	195	1.0986	25.7643	6.6688	1300.4197	3.0754
	全体	1596	0.1404	200.0000	5.5525	8861.7656	7.1589
血小板製剤／単位	300 床以下	765	0.0048	447.5000	5.4418	4162.9563	24.8201
	300～499 床	273	0.087	90.2278	7.4453	2032.5637	11.3330
	500 床以上	193	0.9019	124.8099	13.9828	2698.6739	14.5335
	全体	1231	0.0048	447.5000	7.2252	8894.1939	21.2878
新鮮凍結血漿／単位	300 床以下	665	0.0163	22.0000	1.3537	900.1876	2.0053
	300～499 床	267	0.0322	45.0278	2.4853	663.5862	4.1581
	500 床以上	193	0.1887	19.7291	4.0007	772.1408	2.9024
	全体	1125	0.0163	45.0278	2.0764	2335.9146	2.9818
自己血／単位	300 床以下	425	0.0028	8.8571	0.6185	262.8642	0.8594
	300～499 床	249	0.0051	2.8889	0.4324	107.6663	0.3803
	500 床以上	190	0.0113	2.1477	0.5054	96.0349	0.3839
	全体	864	0.0028	8.8571	0.5400	466.5654	0.6658
アルブミン製剤／g	300 床以下	865	0.0123	1360.0000	41.2974	35722.2792	101.5402
	300～499 床	260	0.0184	1011.2500	37.5370	9759.6266	75.0238
	500 床以上	187	0.9730	523.0000	43.2145	8081.1123	49.5538
	全体	1312	0.0123	1360.0000	40.8255	53563.0181	90.8759
免疫グロブリン製剤／g	300 床以下	632	0.0077	138.1818	4.4477	2810.9707	12.3086
	300～499 床	213	0.0213	132.3611	3.7501	798.7803	9.8780
	500 床以上	146	0.1826	80.5402	6.3424	925.9972	10.0003
	全体	991	0.0077	138.1818	4.5769	4535.7482	11.5206

1-61.製剤別血液製剤廃棄量

製剤別血液製剤廃棄量（単位）							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血製剤／単位	300 床以下	24	1	110	10.54	253	22.54
	300～499 床						
	500 床以上	4	2	8	4.75	19	3.20
	全体	28	1	110	9.71	272	20.93
赤血球製剤／単位	300 床以下	842	1	3600	53.14	44740	167.71
	300～499 床	298	1	2912	104.23	31061	228.41
	500 床以上	215	2	12776	161.60	34745	869.91
	全体	1355	1	12776	81.58	110546	387.49
血小板製剤／単位	300 床以下	122	2	970	47.39	5781	130.11
	300～499 床	161	5	7540	91.29	14698	609.73
	500 床以上	192	10	25755	213.41	40974	1855.75
	全体	475	2	25755	129.37	61453	1233.93
新鮮凍結血漿／単位	300 床以下	361	1.0	216.0	20.62	7443.5	25.46
	300～499 床	267	2.0	651.0	33.48	8938.5	61.80
	500 床以上	208	1.0	8652.0	108.92	22654.5	607.18
	全体	836	1	8652	46.69	39036.5	306.93
自己血／単位	300 床以下	235	1	372	23.49	5520	51.73
	300～499 床	225	1	400	36.56	8227	49.51
	500 床以上	200	2	1811	106.63	21325	167.60
	全体	660	1	1811	53.14	35072	107.43
アルブミン製剤／g	300 床以下	92	3.2	23170.0	646.80	59506.0	2670.27
	300～499 床	41	1.0	27362.5	926.01	37966.5	4462.21
	500 床以上	71	2.5	42350	1014.89	72057.2	5537.19
	全体	204	1.0	42350	831.03	169529.7	4209.68
免疫グロブリン製剤／g	300 床以下	46	0.5	3025.0	112.35	5168.1	450.09
	300～499 床	24	0.2	1407.5	62.10	1490.5	286.59
	500 床以上	34	0.5	9902.5	301.17	10239.9	1696.55
	全体	104	0.2	9902.5	162.49	16898.5	1019.23

* アルブミン製剤（血漿蛋白製剤も含む）、免疫グロブリン製剤はgに換算し記入して下さい

* FFP-LR-1 は 1.5 単位、FFP-LR-2 は 3 単位として計算して下さい

* 自己血は赤血球成分を単位数に換算して記入下さい

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

1-62.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤がありましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	7	0.52%	10	3.12%	6	2.70%	23	1.22%
2	いいえ	1342	99.48%	311	96.88%	216	97.30%	1869	98.78%
	合計	1349		321		222		1892	

1-63.購入した日赤未照射製剤と院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤の製剤別単位数を記入してください

購入した日赤未照射製剤総単位数							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
日赤未照射全血製剤	全体	0					
日赤未照射赤血球製剤 ／単位	300 床以下	5	2	1381	818.60	4093	737.01
	300～499 床	10	2	4845	2418.70	24187	1453.92
	500 床以上	5	5682	10167	7615.00	38075	1932.91
	全体	20	2	10167	3317.75	66355	2971.67
日赤血未照射小板製剤 ／単位	300 床以下	2	10	90	50.00	100	56.57
	300～499 床	5	260	3790	1486.00	7430	1659.47
	500 床以上	2	1253	4340	2796.50	5593	2182.84
	全体	9	10	4340	1458.11	13123	1707.90

院内で照射が行なえず未照射のまま輸血が行なわれた日赤未照射製剤袋数							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
日赤未照射全血製剤	全体	0					
日赤未照射赤血球製剤 ／袋	300 床以下	3	3	15	10.33	31	6.43
	300～499 床	6	2	40	17.67	106	17.59
	500 床以上	5	2	244	56.00	280	105.56
	全体	14	2	244	29.79	417	63.03
日赤血未照射小板製剤	全体	0					

1-64.日赤未照射製剤を院内で照射が行なえ無かった理由は **複数回答**

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった	3	75.00%	7	100.00%	5	83.33%	15	88.24%
2	時間外に院内照射を行なう体制がないため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	放射線照射装置の故障のため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	高K血症の予防のため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	1	25.00%	0	0.00%	1	16.67%	2	11.76%
	回答施設合計	4		7		6		17	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-64 詳細.xls を参照

1-65.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に院内同種血全血採血を行いましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	11	0.81%	11	3.38%	16	7.24%	38	2.00%
2	いいえ	1345	99.19%	314	96.62%	205	92.76%	1864	98.00%
	合計	1356		325		221		1902	

1-66.院内同種血全血採血の単位数・袋数

院内同種血全血採血量							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
院内同種血全血採血 ／単位	300 床以下	9	2	188	33.78	304	60.51
	300～499 床	8	2	138	35.88	287	50.05
	500 床以上	12	2	214	27.25	327	59.46
	全体	29	2	214	31.66	918	55.46
院内同種血全血採血 ／袋	300 床以下	9	1	64	15.11	136	21.41
	300～499 床	8	1	69	24.625	197	28.67
	500 床以上	13	1	116	16.92	220	31.33
	全体	30	1	116	18.43	553	27.31

1-67. 院内同種血全血採血を行った理由は 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急時で赤十字血液センターからの赤血球製剤の供給が遅れたため、または在庫がなかったため	5	55.56%	1	12.50%	2	14.29%	8	25.81%
2	緊急時で赤十字血液センターからの血小板製剤の供給が遅れたため、または在庫がなかったため	0	0.00%	3	37.50%	5	35.71%	8	25.81%
3	緊急時で赤十字血液センターからの全血製剤の供給が遅れたため、または在庫がなかったため	0	0.00%	1	12.50%	0	0.00%	1	3.23%
4	赤十字血液センターからの「いわゆる新鮮血」の供給がないため	1	11.11%	2	25.00%	3	21.43%	6	19.35%
5	その他	4	44.44%	4	50.00%	5	35.71%	13	41.94%
	回答施設合計	9		8		14		31	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-67 詳細.xls を参照

1-68. 過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に放射線未照射のまま輸血が行なわれた院内採血同種血全血製剤がありましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	7	63.64%	3	30.00%	1	6.67%	11	30.56%
2	いいえ	4	36.36%	7	70.00%	14	93.33%	25	69.44%
	合計	11		10		15		36	

1-69 放射線未照射のまま輸血が行なわれた院内採血同種血全血製剤の単位数・袋数

放射線未照射のまま輸血が行なわれた院内採血同種血全血製剤量							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
院内同種血全血採血 ／単位	300 床以下	6	2	188	37.67	226	73.96
	300～499 床	3	4	88	32.67	98	47.93
	500 床以上	1	6	6	6.00	6	
	全体	10	2	188	33.00	330	60.38
院内同種血全血採血 ／袋	300 床以下	6	1	64	14.33	86	24.52
	300～499 床	3	3	44	17.00	51	23.39
	500 床以上	1	3	3	3.00	3	
	全体	10	1	64	14.00	140	21.73

1-70. 院内採血同種血全血製剤を院内で照射が行なえ無かった理由は 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった	2	28.57%	0	0.00%	1	100.00%	3	27.27%
2	時間外に院内照射を行なう体制がないため	1	14.29%	1	33.33%	0	0.00%	2	18.18%
3	放射線照射装置の故障のため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	4	57.14%	3	100.00%	0	0.00%	7	63.64%
	回答施設合計	7		3		1		11	

「その他」場合、その理由を 50 文字以内で記入して下さい

別紙 設問 1-70 詳細.xls を参照

1-71. 過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)の末梢血幹細胞採取回数(のべ回数で回答して下さい)

末梢血幹細胞採取回数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	14	1	65	13.43	188	16.86
300～499 床	39	1	41	8.00	312	7.90
500 床以上	117	1	92	22.067	2582	17.30
全体	170	1	92	18.13	3082	16.66

7) 貯血式自己血輸血について

1-72.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に貯血式自己血輸血の採血および輸血をしましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	506	36.77%	286	86.40%	219	97.77%	1011	52.36%
2	いいえ	870	63.23%	45	13.60%	5	2.23%	920	47.64%
	合計	1376		331		224		1931	

1-73.貯血式自己血輸血の実績(実際に輸血されたもの)

貯血式自己血輸血の実績 (単位)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
全血／単位	300 床以下	435	1	2304	94.00	40885	187.92
	300～499 床	261	2	1048	204.04	53254	196.25
	500 床以上	206	1	1811	476.07	98070	369.80
	全体	902	1	2304	213.09	192209	286.22
MAP／単位	300 床以下	53	1	566	66.57	3528	109.58
	300～499 床	27	2	974	162.63	4391	236.66
	500 床以上	59	4	1841	346.32	20433	421.93
	全体	139	1	1841	203.97	28352	325.80
FFP／単位	300 床以下	25	1	258	65.84	1646	69.39
	300～499 床	18	2	974	161.89	2914	284.04
	500 床以上	54	2	1455	290.48	15686	375.02
	全体	97	1	1455	208.72	20246	320.35
フィブリン糊／単位	300 床以下	3	34	165	108.33	325	67.26
	300～499 床	7	4	533	119.29	835	186.34
	500 床以上	25	3	1762	256.92	6423	388.00
	全体	35	3	1762	216.66	7583	341.81
血小板糊／単位	300 床以下						
	300～499 床	1	2	2	2	2	
	500 床以上	2	8	22	15.00	30	9.90
	全体	3	2	22	10.67	32	10.26

1-74.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)の貯血式自己血採血の症例数(実患者数)は

貯血式自己血採血の症例数 (人)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	458	1	344	30.57	13999	49.98
300～499 床	255	1	391	71.28	18177	70.96
500 床以上	200	2	1025	190.76	38152	147.25
全体	913	1	1025	77.03	70328	106.37

1-75.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)の貯血式自己血輸血採血の総件数は

貯血式自己血輸血採血の総件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	462	1	1230	48.35	22340	95.54
300～499 床	261	1	993	126.23	32946	130.59
500 床以上	208	4	1811	352.70	73361	279.69
全体	931	1	1811	138.18	128647	202.59

1-76.自己血採血、末梢血幹細胞採取などを担当する看護師数(1 日平均)と平均在職期間について

人数	専任				兼任			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	8	11	27	46	192	122	79	393
1.1～2.0 人	3	2	1	6	62	23	16	101
2.1～3.0 人		1	2	3	25	9	6	40
3.1～4.0 人					8	5	6	19
4.1～5.0 人					11	9	1	21
5.1～6.0 人					6	2		8
6.1～7.0 人					5	2		7
7.1～8.0 人					4		2	6
8.1～9.0 人								
9.1～10.0 人	1			1	2	1	1	4
10.1～20.0 人								
20.1～30.0 人						1		1
施設数	12	14	30	56	315	174	111	600

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

人数	非常勤			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 人	15	8	16	39
1.1～2.0 人	10	6	2	18
2.1～3.0 人	1	1	2	4
3.1～4.0 人		2	1	3
4.1～5.0 人	2			2
5.1～6.0 人			1	1
施設数	28	17	22	67

平均在職期間	専任				兼任			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 年		3	4	7	4	3	4	11
1.1～2.0 年	3		7	10	13	7	9	29
2.1～3.0 年			2	2	25	10	11	46
3.1～4.0 年	2	1	4	7	11	7	3	21
4.1～5.0 年		3	4	7	56	22	9	87
5.1～6.0 年			1	1	7	3	1	11
6.1～7.0 年		1		1	7	3	3	13
7.1～8.0 年	3			3	7	5	3	15
8.1～9.0 年		1		1				
9.1～10.0 年	1	2	2	5	67	38	21	126
10.1～20.0 年	3	3	3	9	57	29	13	99
20.1～30.0 年			2	2	9	4	5	18
30.0 年以上					2		2	4
施設数	12	14	29	55	265	131	84	480

平均在職期間	非常勤			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～1.0 年	2	1	3	6
1.1～2.0 年	4		3	7
2.1～3.0 年	2	1	6	9
3.1～4.0 年	5	1	2	8
4.1～5.0 年	5	2	2	9
5.1～6.0 年	2	2	1	5
6.1～7.0 年	1	1	2	4
7.1～8.0 年	1	1		2
8.1～9.0 年				
9.1～10.0 年	1	1		2
10.1～20.0 年	4	5		9
20.1～30.0 年			2	2
施設数	27	15	21	63

1-77.貯血式自己血輸血の採血はどこで行われていますか

複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	7	1.41%	15	5.26%	89	40.64%	111	11.08%
2	病棟	256	51.41%	157	55.09%	102	46.58%	515	51.40%
3	外来	385	77.31%	246	86.32%	122	55.71%	753	75.15%
4	日赤血液センター	12	2.41%	5	1.75%	4	1.83%	21	2.10%
5	その他	19	3.82%	15	5.26%	18	8.22%	52	5.19%
	回答施設合計	498		285		219		1002	

1-78. 静脈穿刺しているのは誰ですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師（医師は歯科医師を含む）	246	49.40%	168	59.15%	137	62.84%	551	55.10%
2	看護師	175	35.14%	64	22.54%	35	16.06%	274	27.40%
3	医師及び看護師	74	14.86%	52	18.31%	46	21.10%	172	17.20%
4	臨床検査技師	1	0.20%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.10%
5	その他	2	0.40%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.20%
	合計	498		284		218		1000	

1-79. 問 1-78 で(1)又は(3)の場合、静脈穿刺している医師は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の医師	4	1.25%	6	2.75%	33	18.54%	43	6.01%
2	担当医	293	91.85%	200	91.74%	118	66.29%	611	85.45%
3	輸血部門の医師および担当医	9	2.82%	4	1.83%	21	11.80%	34	4.76%
4	その他	13	4.08%	8	3.67%	6	3.37%	27	3.78%
	合計	319		218		178		715	

1-80. 医師以外による採血の場合、その時の医師の所在はどこですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	採血場所	66	21.50%	24	16.67%	29	32.22%	119	22.00%
2	連絡が付く院内	237	77.20%	118	81.94%	57	63.33%	412	76.16%
3	不在または連絡不能	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	4	1.30%	2	1.39%	4	4.44%	10	1.85%
	合計	307		144		90		541	

1-81.自己血採血時に患者さんの安全性は確保されていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	充分確保されている	436	89.71%	238	86.55%	184	85.58%	858	87.91%
2	一部確保されていない点がある	31	6.38%	29	10.55%	22	10.23%	82	8.40%
3	不明	19	3.91%	8	2.91%	9	4.19%	36	3.69%
	合計	486		275		215		976	

1-82.自己血採血において医師についての問題点がありますか 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	問題なし	371	78.11%	174	66.41%	116	54.98%	661	69.73%
2	人数不足	55	11.58%	57	21.76%	76	36.02%	188	19.83%
3	技術不足	26	5.47%	25	9.54%	26	12.32%	77	8.12%
4	他職種との連携不足	23	4.84%	16	6.11%	18	8.53%	57	6.01%
5	その他	16	3.37%	13	4.96%	8	3.79%	37	3.90%
	回答施設合計	475		262		211		948	

1-83.自己血採血において看護師についての問題点がありますか 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	問題なし	340	71.58%	168	62.92%	107	53.23%	615	65.22%
2	人数不足	65	13.68%	66	24.72%	72	35.82%	203	21.53%
3	経験不足	87	18.32%	47	17.60%	35	17.41%	169	17.92%
4	他職種との連携不足	19	4.00%	9	3.37%	9	4.48%	37	3.92%
5	その他	8	1.68%	7	2.62%	8	3.98%	23	2.44%
	回答施設合計	475		267		201		943	

1-84.貯血式自己血輸血製剤の主な保存方法は

複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	主として全血液状保存	474	95.18%	277	97.88%	205	94.04%	956	95.70%
2	主として成分保存（赤血球成分液状保存/新鮮凍結血漿）	27	5.42%	9	3.18%	30	13.76%	66	6.61%
3	主として赤血球も凍結保存	2	0.40%	1	0.35%	1	0.46%	4	0.40%
	回答施設合計	498		283		218		999	

1-85.貯血式自己血の保管管理されている場所はどこですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	38	7.60%	96	33.68%	154	70.32%	288	28.69%
2	薬剤部	62	12.40%	13	4.56%	3	1.37%	78	7.77%
3	検査室	346	69.20%	175	61.40%	61	27.85%	582	57.97%
4	病棟	22	4.40%	1	0.35%	0	0.00%	23	2.29%
5	外来	2	0.40%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.20%
6	日赤血液センター	20	4.00%	0	0.00%	1	0.46%	21	2.09%
7	その他	10	2.00%	0	0.00%	0	0.00%	10	1.00%
	合計	500		285		219		1004	

1-86.貯血式自己血の保管管理の責任者は誰ですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	診療科医師（主治医）	38	7.66%	6	2.14%	6	2.79%	50	5.04%
2	輸血部門の医師	12	2.42%	28	9.96%	83	38.60%	123	12.40%
3	薬剤師	61	12.30%	13	4.63%	8	3.72%	82	8.27%
4	検査技師	365	73.59%	228	81.14%	114	53.02%	707	71.27%
5	その他	20	4.03%	6	2.14%	4	1.86%	30	3.02%
	合計	496		281		215		992	

1-87.自己血専用の保冷庫はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	190	37.92%	168	58.74%	187	86.57%	545	54.34%
2	ない	311	62.08%	118	41.26%	29	13.43%	458	45.66%
	合計	501		286		216		1003	

1-88.自己フィブリン糊を作製していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	作製している	4	0.81%	8	2.86%	28	13.02%	40	4.06%
2	作製していない	487	99.19%	272	97.14%	187	86.98%	946	95.94%
	合計	491		280		215		986	

1-89.自己血血小板糊 (PRP) を作製していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	作製している	4	0.81%	5	1.79%	6	2.82%	15	1.53%
2	作製していない	487	99.19%	274	98.21%	207	97.18%	968	98.47%
	合計	491		279		213		983	

1-90.自己血輸血使用時に検査として何を実施していますか

複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ABO 型確認のみ	165	33.33%	114	40.43%	98	45.16%	377	37.93%
2	交差適合試験	56	11.31%	47	16.67%	29	13.36%	132	13.28%
3	ABO 型確認と交差適合試験	188	37.98%	103	36.52%	76	35.02%	367	36.92%
4	コンピュータークロスマッチ	45	9.09%	77	27.30%	76	35.02%	198	19.92%
5	未検査	86	17.37%	17	6.03%	2	0.92%	105	10.56%
6	その他	15	3.03%	8	2.84%	5	2.30%	28	2.82%
	回答施設合計	495		282		217		994	

1-91.HBV、HCV、HIV、HTLV-I、梅毒の陽性患者の自己血を扱っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	266	55.30%	222	80.14%	197	91.20%	685	70.33%
2	いいえ	215	44.70%	55	19.86%	19	8.80%	289	29.67%
	合計	481		277		216		974	

1-92.問 1-91 で「(1)はい」の場合、保存は陰性者と別の保冷庫を使用しますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	43	16.35%	73	33.03%	119	60.71%	235	34.56%
2	いいえ	220	83.65%	148	66.97%	77	39.29%	445	65.44%
	合計	263		221		196		680	

1-93.自己血の採取は院内で統一されたマニュアルに沿って実施していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	466	94.91%	272	97.14%	210	96.77%	948	95.95%
2	いいえ	25	5.09%	8	2.86%	7	3.23%	40	4.05%
	合計	491		280		217		988	

1-94.問 1-93 で「(1)はい」の場合、そのマニュアルは 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	採血基準	328	71.00%	216	80.30%	182	86.67%	726	77.15%
2	採血手順	439	95.02%	257	95.54%	194	92.38%	890	94.58%
3	副作用対応	233	50.43%	176	65.43%	156	74.29%	565	60.04%
4	保管管理	330	71.43%	209	77.70%	173	82.38%	712	75.66%
5	その他	10	2.16%	24	8.92%	20	9.52%	54	5.74%
	回答施設合計	462		269		210		941	

1-95.主に使用している採血バッグの形状について

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	針付バッグ	357	73.31%	183	66.79%	120	55.81%	660	67.62%
2	針なしバッグ	77	15.81%	45	16.42%	41	19.07%	163	16.70%
3	針付バッグと針なしバッグの併用	53	10.88%	46	16.79%	54	25.12%	153	15.68%
	合計	487		274		215		976	

1-96.自己血採血記録は自己血を管理する部門で保管していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	479	54.25%	225	74.50%	191	89.67%	895	64.02%
2	いいえ	404	45.75%	77	25.50%	22	10.33%	503	35.98%
	合計	883		302		213		1398	

1-97.自己血採血時、血管迷走神経反射(VVR)対応マニュアルはありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	237	26.84%	172	59.72%	163	79.13%	572	41.54%
2	いいえ	646	73.16%	116	40.28%	43	20.87%	805	58.46%
	合計	883		288		206		1377	

1-98.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に血管迷走神経反射(VVR)を経験しましたか

件数	Ⅰ 度				Ⅱ 度				Ⅲ 度			
	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 件	19	14	17	50	3	1	18	22			3	3
2 件	1	4	13	18		1	4	5				
3 件	5	4	13	22		1	1	2				
4 件		1	3	4								
5 件		1	7	8			1	1				
6 件			4	4								
7 件			2	2			1	1				
8 件		1	2	3								
9 件		2	2	4								
10 件			2	2								
11 件												
12 件												
13 件			2	2								
14 件			2	2								
15 件			1	1								
16 件			1	1								
18 件			1	1								
施設数	25	27	72	124	3	3	25	31	0	0	3	3

1-99.貯血式自己血輸血推進に赤十字血液センターの協力は必要と考えますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	642	74.65%	186	62.84%	121	59.31%	949	69.78%
2	いいえ	218	25.35%	110	37.16%	83	40.69%	411	30.22%
	合計	860		296		204		1360	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

1-100.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で貯血式自己血輸血において細菌感染および疑い例はありましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	0.72%	3	1.00%	2	0.93%	11	0.81%
2	ない	833	99.28%	296	99.00%	214	99.07%	1343	99.19%
	合計	839		299		216		1354	

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 例	3	1	1	5
3 例	1			1
施設数	4	1	1	6

8) 血液法及び薬事法、指針の改訂について

1-101.「薬事法」に規定された特定生物由来製品使用時の製剤名、製剤番号、ロット番号、患者氏名、患者住所などを記録し、20 年間の保管義務が明記されていますが、その保管方法をお答え下さい

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤の伝票をそのまま綴じている	218	15.94%	45	13.68%	21	9.50%	284	14.81%
2	管理簿を作って記載している	802	58.63%	67	20.36%	27	12.22%	896	46.72%
3	コンピュータで記録している	322	23.54%	206	62.61%	166	75.11%	694	36.18%
4	その他	26	1.90%	11	3.34%	7	3.17%	44	2.29%
	合計	1368		329		221		1918	

1-102.改正薬事法では特定生物由来製品による感染症などの副作用が発生した場合、医療施設は厚生労働省に報告する義務があることが記載されていますが、このことに取り組んでいますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取り組んでいる	848	66.41%	261	81.56%	193	88.94%	1302	71.78%
2	取り組んでいない	178	13.94%	24	7.50%	9	4.15%	211	11.63%
3	現在検討中である	251	19.66%	35	10.94%	15	6.91%	301	16.59%
	合計	1277		320		217		1814	

1-103.血液法と改正薬事法の理念および輸血療法の実施に関する指針と血液製剤の使用指針について、輸血療法委員会を通じて院内に周知していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	内容を含め十分周知している	462	35.93%	176	55.35%	157	71.69%	795	43.61%
2	内容まで十分知らせていない	605	47.05%	126	39.62%	53	24.20%	784	43.01%
3	全くしていない	131	10.19%	7	2.20%	2	0.91%	140	7.68%
4	その他	88	6.84%	9	2.83%	7	3.20%	104	5.70%
	合計	1286		318		219		1823	

9) 次年度調査の回答方法について

1-104.本調査は、次年度も継続して行うつもりですが、回答方法として調査専用ホームページ以外に、FD や USB メモリーの電子媒体での回答を計画しています。来年度の回答方法選んでください

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	調査専用ホームページから回答する	972	76.12%	279	88.85%	209	96.76%	1460	80.80%
2	インターネット環境は無いがコンピュータは有るので FD や USB メモリーの電子媒体で回答する	102	7.99%	18	5.73%	4	1.85%	124	6.86%
3	インターネット環境およびコンピュータもないので郵送で回答する	203	15.90%	17	5.41%	3	1.39%	223	12.34%
	合計	1277		314		216		1807	

【2】アルブミン製剤の使用量等に関する調査

1) 管理体制について

2-1.アルブミン製剤を管理している部門はどこですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	13	0.96%	12	3.65%	45	20.36%	70	3.68%
2	検査部門	50	3.70%	23	6.99%	11	4.98%	84	4.42%
3	薬剤部門	1238	91.70%	275	83.59%	153	69.23%	1666	87.68%
4	検査部門と薬剤部門	26	1.93%	19	5.78%	10	4.52%	55	2.89%
5	その他	23	1.70%	0	0.00%	2	0.90%	25	1.32%
	合計	1350		329		221		1900	

2-2.アルブミン製剤の使用状況を輸血部門が把握していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	把握している	756	61.21%	257	80.06%	198	90.41%	1211	68.23%
2	把握していない	479	38.79%	64	19.94%	21	9.59%	564	31.77%
	合計	1235		321		219		1775	

2-3.アルブミン製剤の採用を決定している部門はどこですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	18	1.36%	3	0.93%	7	3.15%	28	1.49%
2	薬剤部門	488	36.75%	97	30.03%	51	22.97%	636	33.96%
3	院内の薬剤委員会	664	50.00%	218	67.49%	156	70.27%	1038	55.42%
4	経理部門	6	0.45%	1	0.31%	2	0.90%	9	0.48%
5	その他	152	11.45%	4	1.24%	6	2.70%	162	8.65%
	合計	1328		323		222		1873	

2) 使用製剤について

2-4.等張製剤(4.4% 250mL 瓶、5% 250mL 瓶)について 2009 年 1 月～2009 年 12 月に使用した製剤は次のどれですか

複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	国産（採血国：日本）	205	17.90%	95	32.65%	77	37.38%	377	22.96%
2	輸入（採血国：海外、献血）	137	11.97%	102	35.05%	101	49.03%	340	20.71%
3	輸入（採血国：海外、非献血）	164	14.32%	75	25.77%	42	20.39%	281	17.11%
4	遺伝子組換え	1	0.09%	1	0.34%	6	2.91%	8	0.49%
5	使用実績はあるが詳細は不明	2	0.17%	1	0.34%	3	1.46%	6	0.37%
6	使用実績なし	662	57.82%	39	13.40%	10	4.85%	711	43.30%
	回答施設合計	1145		291		206		1642	

2-5.等張製剤(4.4% 250mL 瓶、5% 250mL 瓶)の使用実績

等張製剤(4.4% 250mL 瓶、5% 250mL)の使用量(g) 2009 年(1 月～12 月)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	(1)国産（採血国：日本）	170	1.0	18600.0	1039.35	176689.2	2056.15
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	137	2.0	19187.5	1888.42	258713.9	3207.11
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	148	0.5	29725.0	1061.11	157044.2	2859.67
	(4)遺伝子組換え	1	62.5	62.5	62.5	62.5	
300～499 床	(1)国産（採血国：日本）	85	4.4	37000.0	4066.43	345646.7	6325.28
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	99	100.0	24987.5	4780.09	473229.3	5063.24
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	72	115.0	22000.0	4189.42	301638.5	4080.45
	(4)遺伝子組換え	1	300	300	300	300	
500 床以上	(1)国産（採血国：日本）	78	22.0	67781.3	12328.76	961643.4	13870.62
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	97	100.0	102562.5	18844.36	1827902.5	17051.07
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	39	62.5	99237.5	17887.21	697601.3	19878.05
	(4)遺伝子組換え	6	37.5	850.0	254.5	1527.0	300.87
全体	(1)国産（採血国：日本）	333	1.0	67781.3	4456.39	1483979.3	8801.95
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	333	2.0	102562.5	7687.22	2559845.7	12190.79
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	259	0.5	99237.5	4464.42	1156284	10066.80
	(4)遺伝子組換え	8	37.5	850.0	236.19	1889.5	264.27

2-6.高張製剤(20% 20mL 瓶、20% 50mL 瓶)について 2009 年 1 月～2009 年 12 月に使用した製剤は次のどれですか、複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	国産（採血国：日本）	282	27.06%	91	34.60%	89	47.09%	462	30.92%
2	輸入（採血国：海外、献血）	4	0.38%	0	0.00%	1	0.53%	5	0.33%
3	輸入（採血国：海外、非献血）	32	3.07%	13	4.94%	21	11.11%	66	4.42%
4	遺伝子組換え	0	0.00%	1	0.38%	0	0.00%	1	0.07%
5	使用実績はあるが詳細は不明	2	0.19%	2	0.76%	3	1.59%	7	0.47%
6	使用実績なし	736	70.63%	161	61.22%	84	44.44%	981	65.66%
	回答施設合計	1042		263		189		1494	

2-7.高張製剤(20% 20mL 瓶、20% 50mL 瓶)の使用実績

高張製剤(20% 20mL 瓶、20% 50mL 瓶)の使用量(g) 2009 年(1 月～12 月)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	(1)国産（採血国：日本）	251	3.0	19100.0	1926.04	483434.8	2893.48
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	3	620.0	5350.0	3083.33	9250.0	2371.12
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	29	10.0	9050.0	2442.07	70820.0	2803.33
	(4)遺伝子組換え						
300～499 床	(1)国産（採血国：日本）	83	4.0	25237.5	5968.82	495412.0	5885.93
	(2)輸入（採血国：海外、献血）						
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	12	844.0	20380.0	7109.08	85309.0	6787.78
	(4)遺伝子組換え						
500 床以上	(1)国産（採血国：日本）	84	28.0	65175.0	10726.29	901008.2	13445.18
	(2)輸入（採血国：海外、献血）						
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	21	129.0	58250.0	10858.40	228026.5	13935.51
	(4)遺伝子組換え						
全体	(1)国産（採血国：日本）	418	3.0	65175.0	4497.26	1879855.0	7748.51
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	3	620.0	5350.0	3083.33	9250.0	2371.12
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	62	10	58250	6196.06	384155.5	9483.37
	(4)遺伝子組換え						

2-8.高張製剤(25% 20mL 瓶、25% 50mL 瓶)について 2009 年 1 月～2009 年 12 月に使用した製剤は次のどれですか 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	国産（採血国：日本）	562	49.82%	164	58.99%	141	69.46%	867	53.88%
2	輸入（採血国：海外、献血）	79	7.00%	29	10.43%	27	13.30%	135	8.39%
3	輸入（採血国：海外、非献血）	119	10.55%	45	16.19%	29	14.29%	193	12.00%
4	遺伝子組換え	1	0.09%	6	2.16%	19	9.36%	26	1.62%
5	使用実績はあるが詳細は不明	6	0.53%	1	0.36%	3	1.48%	10	0.62%
6	使用実績なし	399	35.37%	63	22.66%	32	15.76%	494	30.70%
	回答施設合計	1128		278		203		1609	

2-9.高張製剤(25% 20mL 瓶、25% 50mL 瓶)の使用実績

高張製剤(25% 20mL 瓶、25% 50mL 瓶)の使用量(g) 2009 年(1 月～12 月)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	(1)国産（採血国：日本）	538	3.3	33137.5	2559.55	1377037.5	3734.13
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	92	12.0	26375.0	2922.11	268833.7	4100.62
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	104	1.0	20350.0	2595.058	269886.0	3812.54
	(4)遺伝子組換え	2	312.5	400.0	356.25	712.5	61.87
300～499 床	(1)国産（採血国：日本）	157	25.0	58650.0	10012.46	1571955.8	10295.17
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	31	25.0	53250.0	10324.18	320049.5	9403.68
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	42	47.0	27787.5	8241.77	346154.5	6916.82
	(4)遺伝子組換え	7	125.0	1825.0	560.71	3925.0	581.86
500 床以上	(1)国産（採血国：日本）	138	75.0	164875.0	25954.82	3581765.3	24568.64
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	27	350.0	80487.5	21915.04	591706.0	19878.08
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	28	75.0	67762.5	15843.95	443630.5	15734.56
	(4)遺伝子組換え	21	75.0	2937.5	668.76	14044.0	718.80
全体	(1)国産（採血国：日本）	833	3.3	164875.0	7840.05	6530758.6	14199.15
	(2)輸入（採血国：海外、献血）	150	12.0	80487.5	7870.59	1180589.2	12212.26
	(3)輸入（採血国：海外、非献血）	174	1.0	67762.5	6090.06	1059671.0	9082.78
	(4)遺伝子組換え	30	75.0	2937.5	622.72	18681.5	658.68

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

2-10.定数在庫を置いている部署（手術室、ICU、救急外来など）がある場合、各々、国内献血アルブミン、外国産アルブミンの定数在庫の有無をお答えください。

項目			300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
			回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
(1)手術室	国産アルブミン	(1) あり	147	18.89%	80	34.78%	99	54.10%	326	27.37%
		(2) なし	631	81.11%	150	65.22%	84	45.90%	865	72.63%
		合計	778		230		183		1191	
	外国産アルブミン	(1) あり	160	20.81%	134	58.01%	117	63.59%	411	34.71%
		(2) なし	609	79.19%	97	41.99%	67	36.41%	773	65.29%
		合計	769		231		184		1184	
(2)ICU	国産アルブミン	(1) あり	57	8.23%	65	30.81%	90	50.00%	212	19.56%
		(2) なし	636	91.77%	146	69.19%	90	50.00%	872	80.44%
		合計	693		211		180		1084	
	外国産アルブミン	(1) あり	57	8.27%	90	42.45%	105	59.32%	252	23.38%
		(2) なし	632	91.73%	122	57.55%	72	40.68%	826	76.62%
		合計	689		212		177		1078	
(3)救急外来	国産アルブミン	(1) あり	60	8.09%	30	13.89%	52	29.38%	142	12.51%
		(2) なし	682	91.91%	186	86.11%	125	70.62%	993	87.49%
		合計	742		216		177		1135	
	外国産アルブミン	(1) あり	55	7.57%	54	24.32%	77	43.26%	186	16.50%
		(2) なし	672	92.43%	168	75.68%	101	56.74%	941	83.50%
		合計	727		222		178		1127	
(4)上記以外	国産アルブミン	(1) あり	245	29.88%	54	24.66%	61	34.86%	360	29.65%
		(2) なし	575	70.12%	165	75.34%	114	65.14%	854	70.35%
		合計	820		219		175		1214	
	外国産アルブミン	(1) あり	161	20.33%	58	26.85%	65	38.46%	284	24.13%
		(2) なし	631	79.67%	158	73.15%	104	61.54%	893	75.87%
		合計	792		216		169		1177	

2-11.DPC 導入病院(1-3 の質問にはい)の施設のみお答えください。

出来高算定が可能な手術時の使用とそれ以外の使用において、上記の製剤の使用割合に差異がありますか。

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	12	6.22%	13	7.65%	12	7.84%	37	7.17%
2	いいえ	122	63.21%	89	52.35%	78	50.98%	289	56.01%
3	どちらともいえない	59	30.57%	68	40.00%	63	41.18%	190	36.82%
	合計	193		170		153		516	

【3】インフォームド・コンセントに関する調査**1) インフォームド・コンセントの実施について**3-1. 赤血球製剤の投与に際して患者又はその家族への説明をし、同意（インフォームド・コンセント）を得ていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	1322	95.87%	315	97.83%	222	98.67%	1859	96.52%
2	ほぼ行っている	54	3.92%	7	2.17%	3	1.33%	64	3.32%
3	あまり行っていない	2	0.15%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.10%
4	全く行っていない	1	0.07%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.05%
	合計	1379		322		225		1926	

3-2. 血小板製剤の投与に際して患者又はその家族への説明をし、同意（インフォームド・コンセント）を得ていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	1244	95.55%	314	97.82%	222	98.67%	1780	96.32%
2	ほぼ行っている	49	3.76%	7	2.18%	3	1.33%	59	3.19%
3	あまり行っていない	6	0.46%	0	0.00%	0	0.00%	6	0.32%
4	全く行っていない	3	0.23%	0	0.00%	0	0.00%	3	0.16%
	合計	1302		321		225		1848	

3-3. 新鮮凍結血漿の投与に際して患者又はその家族への説明をし、同意（インフォームド・コンセント）を得ていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	1218	94.71%	315	97.52%	220	98.65%	1753	95.69%
2	ほぼ行っている	56	4.35%	8	2.48%	3	1.35%	67	3.66%
3	あまり行っていない	6	0.47%	0	0.00%	0	0.00%	6	0.33%
4	全く行っていない	6	0.47%	0	0.00%	0	0.00%	6	0.33%
	合計	1286		323		223		1832	

3-4. アルブミン製剤の投与に際して患者又はその家族への説明をし、同意(インフォームド・コンセント)を得ていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	1064	83.52%	270	88.82%	187	86.57%	1521	84.78%
2	ほぼ行っている	100	7.85%	24	7.89%	18	8.33%	142	7.92%
3	あまり行っていない	55	4.32%	4	1.32%	9	4.17%	68	3.79%
4	全く行っていない	55	4.32%	6	1.97%	2	0.93%	63	3.51%
	合計	1274		304		216		1794	

3-5. アルブミン製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の採血国について情報提供していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	289	24.91%	62	22.88%	39	20.86%	390	24.10%
2	採血国が日本の場合行っている	11	0.95%	3	1.11%	5	2.67%	19	1.17%
3	採血国が外国の場合行っている	39	3.36%	4	1.48%	2	1.07%	45	2.78%
4	全く行っていない	821	70.78%	202	74.54%	141	75.40%	1164	71.94%
	合計	1160		271		187		1618	

3-6. アルブミン製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の献血・非献血の別について情報提供していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	298	25.91%	71	26.10%	42	22.58%	411	25.56%
2	献血由来の場合行っている	30	2.61%	6	2.21%	5	2.69%	41	2.55%
3	非献血の場合行っている	29	2.52%	5	1.84%	3	1.61%	37	2.30%
4	全く行っていない	793	68.96%	190	69.85%	136	73.12%	1119	69.59%
	合計	1150		272		186		1608	

3-7. 免疫グロブリン製剤の投与に際して患者又はその家族への説明をし、同意(インフォームド・コンセント)を得ていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	952	80.95%	261	90.00%	174	85.29%	1387	83.05%
2	ほぼ行っている	96	8.16%	17	5.86%	15	7.35%	128	7.66%
3	あまり行っていない	40	3.40%	5	1.72%	8	3.92%	53	3.17%
4	全く行っていない	88	7.48%	7	2.41%	7	3.43%	102	6.11%
	合計	1176		290		204		1670	

3-8. 免疫グロブリン製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の採血国について情報提供していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	265	23.75%	58	21.97%	39	21.20%	362	23.15%
2	採血国が日本の場合行っている	8	0.72%	3	1.14%	5	2.72%	16	1.02%
3	採血国が外国の場合行っている	35	3.14%	4	1.52%	2	1.09%	41	2.62%
4	全く行っていない	808	72.40%	199	75.38%	138	75.00%	1145	73.21%
	合計	1116		264		184		1564	

3-9. 免疫グロブリン製剤の投与に際し、患者又はその家族へ原料血液の献血・非献血の別について情報提供していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	常に行っている	270	24.37%	65	24.71%	40	21.74%	375	24.12%
2	献血由来の場合行っている	28	2.53%	6	2.28%	7	3.80%	41	2.64%
3	非献血の場合行っている	28	2.53%	5	1.90%	2	1.09%	35	2.25%
4	全く行っていない	782	70.58%	187	71.10%	135	73.37%	1104	71.00%
	合計	1108		263		184		1555	

2009 年輸血業務に関する詳細調査報告

2010 年 03 月 31 日

回答数（集計対象数）

（１）アンケート依頼施設数

7762 施設

輸血業務に関する詳細調査回答施設

1788 施設（23.30％）

内訳

Web 1285 施設（68.42％）

手書き 594 施設（31.58％）

回答施設内割合

1788／2332 施設（76.67％）

【病床数内訳】

番号	項目	回答数	比率
1	0 床	19	1.06%
2	1 床～20 床未満	11	0.62%
3	20 床～100 床未満	544	30.43%
4	100 床～200 床未満	493	27.57%
5	200 床～300 床未満	211	11.80%
6	300 床～400 床未満	185	10.35%
7	400 床～500 床未満	112	6.26%
8	500 床～600 床未満	73	4.08%
9	600 床～700 床未満	60	3.36%
10	700 床～800 床未満	25	1.40%
11	800 床～900 床未満	22	1.23%
12	900 床～1000 床未満	12	0.67%
13	1000 床以上	21	1.17%
	合計	1788	

（別紙 2）輸血過誤による ABO 型異型輸血症例

10 施設

11 症例

（別紙 3）ABO 型異型輸血以外の溶血性副作用症例

3 施設

3 症例

（別紙 4）重篤な副作用症例

TRALI

39 施設

42 症例

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

重症アレルギー反応	37 施設	59 症例
輸血後 GVHD	0 施設	0 症例
輸血による重篤な細菌感染症	2 施設	2 症例
その他	11 施設	15 症例
(別紙 5) 輸血後感染症検査陽性者に関する調査		
HBV	22 施設	41 症例
HCV	16 施設	85 症例
(別紙 6) 手術時輸血製剤詳細調査票	245 施設	
(別紙 7) 院内細胞処理・凍結保存・保管に関する調査		
同種末梢血幹細胞		76 施設
自家末梢血幹細胞		113 施設
自家骨髄		19 施設
血縁者骨髄		44 施設
非血縁者骨髄		45 施設
臍帯血		33 施設
ドナーリンパ球		36 施設
顆粒球採取（アフェレシス法）		17 施設
樹状細胞用単核球採取（アフェレシス法）		16 施設
CTL（細胞障害性 T 細胞）採取（アフェレシス法）		14 施設
自己リンパ球増幅活性化療法のための細胞採取（アフェレシス法）		12 施設

【4】 輸血業務に関する詳細調査

1) はじめに

4-1. 日本輸血・細胞治療学会の認定施設ですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	11	0.90%	17	6.12%	89	43.41%	117	6.85%
2	いいえ	1214	99.10%	261	93.88%	116	56.59%	1591	93.15%
	合計	1225		278		205		1708	

4-2. 詳細項目の回答内容を確認するため事務局からの問い合わせに対応いただけますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	683	61.09%	203	76.60%	172	87.31%	1058	66.96%
2	いいえ	435	38.91%	62	23.40%	25	12.69%	522	33.04%
	合計	1118		265		197		1580	

4-3. 施設でインターネットに接続できる環境ですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	1039	84.89%	268	95.37%	205	97.62%	1512	88.16%
2	いいえ	185	15.11%	13	4.63%	5	2.38%	203	11.84%
	合計	1224		281		210		1715	

2) 輸血療法関連の診療報酬体系について

4-4. 平成18年度の診療報酬改定で「輸血管理料1および2」が設定されましたが、その取得状況をお尋ねします

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血管理料 1 を取得している	51	4.86%	56	20.29%	94	44.55%	201	13.08%
2	輸血管理料 2 を取得している	242	23.05%	79	28.62%	20	9.48%	341	22.19%
3	FFP/RBC の基準をクリアできない	55	5.24%	28	10.14%	11	5.21%	94	6.12%
4	ALB/RBC の基準をクリアできない	153	14.57%	66	23.91%	69	32.70%	288	18.74%
5	FFP/RBC、ALB/RBC の基準をクリアできない 以外の理由で取得していない	549	52.29%	47	17.03%	17	8.06%	613	39.88%
	合計	1050		276		211		1537	

4-5.問 4-4 で「(3)FFP/RBC の基準をクリアできない」又は「(4)ALB/RBC の基準をクリアできない」を選択した施設にお尋ねします

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	肝移植例を除外するとクリアする	0	0.00%	0	0.00%	1	1.27%	1	0.27%
2	血漿交換を除外するとクリアする	8	4.00%	6	6.59%	5	6.33%	19	5.14%
3	肝移植と血漿交換の両方を除外するとクリアする	2	1.00%	0	0.00%	4	5.06%	6	1.62%
4	いずれにしてもクリアできない	190	95.00%	85	93.41%	69	87.34%	344	92.97%
	合計	200		91		79		370	

4-6.平成 21 年度の診療報酬改訂に向け、輸血管理料について忌憚のないご意見(問題点や改善点など)があれば以下に記入して下さい

設問 4-6 輸血管理料についての意見.xls 参照

3) 輸血副作用について

4-7.輸血用血液による副作用の報告の条件は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	副作用の有無にかかわらずすべて報告してもらう	424	35.96%	193	67.25%	155	73.81%	772	46.06%
2	副作用があった症例はすべて報告してもらう	520	44.11%	61	21.25%	39	18.57%	620	36.99%
3	中等度以上の副作用があった症例のみ報告してもらっている	114	9.67%	21	7.32%	13	6.19%	148	8.83%
4	その他	121	10.26%	12	4.18%	3	1.43%	136	8.11%
	合計	1179		287		210		1676	

4-8.病棟・外来から輸血部門への報告の方法は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	698	61.23%	218	75.96%	119	56.40%	1035	63.19%
2	コンピュータ入力	26	2.28%	36	12.54%	78	36.97%	140	8.55%
3	電話・FAX 対応	246	21.58%	22	7.67%	8	3.79%	276	16.85%
4	その他	170	14.91%	11	3.83%	6	2.84%	187	11.42%
	合計	1140		287		211		1638	

4-9.報告の率は何%くらいでしょうか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ 100%	578	56.67%	183	67.78%	123	60.00%	884	59.13%
2	81～99%	96	9.41%	39	14.44%	40	19.51%	175	11.71%
3	61～80%	25	2.45%	14	5.19%	22	10.73%	61	4.08%
4	41～60%	18	1.76%	3	1.11%	8	3.90%	29	1.94%
5	21～40%	6	0.59%	3	1.11%	5	2.44%	14	0.94%
6	0～20%	297	29.12%	28	10.37%	7	3.41%	332	22.21%
	合計	1020		270		205		1495	

4-10.重篤な副作用(例えば溶血性副作用やショック発生時など)発生時の輸血部門への緊急連絡体制について

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	電話などで輸血担当部署に連絡することとなっている	283	24.69%	118	42.14%	131	63.29%	532	32.58%
2	主治医・診療科で対応し、緊急の連絡はない	516	45.03%	67	23.93%	28	13.53%	611	37.42%
3	整備された緊急対応マニュアルに従って各科が先ず対応する	281	24.52%	91	32.50%	43	20.77%	415	25.41%
4	その他	66	5.76%	4	1.43%	5	2.42%	75	4.59%
	合計	1146		280		207		1633	

4-11.副作用発生時の原因製剤回収を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則すべて回収	536	47.86%	139	48.77%	84	40.19%	759	47.03%
2	重篤な副作用のみ回収	277	24.73%	121	42.46%	119	56.94%	517	32.03%
3	行っていない	164	14.64%	19	6.67%	3	1.44%	186	11.52%
4	その他	143	12.77%	6	2.11%	3	1.44%	152	9.42%
	合計	1120		285		209		1614	

4-12.重篤な副作用発生時、輸血責任者・担当者などの対応について

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	主治医と対応策について協議することが多い	431	40.09%	99	36.53%	83	40.69%	613	39.55%
2	主に電話で主治医と連絡し、アドバイスなどを行うことが多い	109	10.14%	70	25.83%	92	45.10%	271	17.48%
3	特に対応せず主治医・診療科にまかせていることが多い	535	49.77%	102	37.64%	29	14.22%	666	42.97%
	合計	1075		271		204		1550	

4-13.血漿分画製剤による副作用の報告の方法は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	用紙運用	528	51.11%	144	55.81%	87	48.33%	759	51.60%
2	コンピュータ入力	25	2.42%	19	7.36%	29	16.11%	73	4.96%
3	電話・FAX 対応	261	25.27%	49	18.99%	41	22.78%	351	23.86%
4	その他	219	21.20%	46	17.83%	23	12.78%	288	19.58%
	合計	1033		258		180		1471	

4-14.血漿分画製剤を使用する前に、患者さんの血液検体を保存していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	248	23.40%	45	17.31%	7	3.70%	300	19.88%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	45	4.25%	4	1.54%	3	1.59%	52	3.45%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	214	20.19%	41	15.77%	27	14.29%	282	18.69%
4	保存していない	553	52.17%	170	65.38%	152	80.42%	875	57.99%
	合計	1060		260		189		1509	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

(1)又は(2)の場合、保存期間は何ヶ月ですか

保存期間	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
0.1～5.9 ヶ月	44	2		46
6.0 ヶ月	9	3		12
12.0 ヶ月	17	2		19
12.1～23.9 ヶ月	2			2
24.0 ヶ月	77	21	6	104
36.0 ヶ月	4	3	2	9
48.0 ヶ月	4			4
60.0 ヶ月	9	1	1	11
60.0 ヶ月以上	4			4
永久保存	27	2		29
施設数	197	34	9	240

4-15.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に輸血過誤による ABO 型異型輸血、間違った同型輸血が発生しましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	0.24%	4	1.38%	4	1.90%	11	0.64%
2	ない	1224	99.76%	286	98.62%	206	98.10%	1716	99.36%
	合計	1227		290		210		1727	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	3	3	4	10
2 症例		1		1
施設数	3	4	4	11

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

4-16.過去1年間(2009年1月～2009年12月)にABO型異型輸血につながるようなインシデント『実際には異型輸血は行われなかったが、システムにより防御できたものを指します』が発生しましたか。

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	117	9.74%	56	19.79%	70	34.65%	243	14.41%
2	ない	1084	90.26%	227	80.21%	132	65.35%	1443	85.59%
	合計	1201		283		202		1686	

4-17.患者検体の取り違え(実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	18	16.07%	18	32.73%	45	64.29%	81	34.18%
2	ない	92	82.14%	37	67.27%	25	35.71%	154	64.98%
3	不明	2	1.79%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.84%
	合計	112		55		70		237	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	14	14	24	52
2 症例	1	2	6	9
3 症例			2	2
4 症例			7	7
6 症例		1	1	2
7 症例			1	1
10 症例			1	1
施設数	15	17	42	74

4-18.血液型判定ミス(実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	21	18.75%	8	14.55%	7	10.29%	36	15.32%
2	ない	88	78.57%	47	85.45%	61	89.71%	196	83.40%
3	不明	3	2.68%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.28%
	合計	112		55		68		235	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	16	8	4	28
2 症例	2			2
11 症例			1	1
施設数	18	8	5	31

4-19.検査室内での血液型転記ミス(コンピュータ誤入力、検査伝票への誤記など) (実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	37	33.64%	21	38.18%	14	20.59%	72	30.90%
2	ない	71	64.55%	34	61.82%	54	79.41%	159	68.24%
3	不明	2	1.82%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.86%
	合計	110		55		68		233	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	26	16	14	56
2 症例	7	2		9
5 症例	1			1
6 症例		1		1
施設数	34	19	14	67

4-20.病棟等での血液型転記ミス(カルテ、ベッド、輸血伝票への誤記など) (実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	42	37.50%	20	35.71%	18	26.87%	80	34.04%
2	ない	65	58.04%	33	58.93%	45	67.16%	143	60.85%
3	不明	5	4.46%	3	5.36%	4	5.97%	12	5.11%
	合計	112		56		67		235	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	27	10	7	44
2 症例	7	3	3	13
3 症例		1	2	3
4 症例		2	1	3
5 症例			1	1
7 症例			1	1
12 症例		1	1	2
施設数	34	17	16	67

4-21.カルテの血液型の確認ミス(実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	20	17.86%	10	18.52%	5	7.35%	35	14.96%
2	ない	86	76.79%	40	74.07%	52	76.47%	178	76.07%
3	不明	6	5.36%	4	7.41%	11	16.18%	21	8.97%
	合計	112		54		68		234	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	11	5	1	17
2 症例	4	1	1	6
3 症例		1	1	2
4 症例		1		2
8 症例			1	1
施設数	15	8	4	28

4-22. バグの取り違い (実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	5.41%	4	7.27%	10	14.71%	20	8.55%
2	ない	103	92.79%	48	87.27%	55	80.88%	206	88.03%
3	不明	2	1.80%	3	5.45%	3	4.41%	8	3.42%
	合計	111		55		68		234	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	5	4	5	14
2 症例			1	1
施設数	5	4	6	15

4-23. 患者の取り違い (実際には異型輸血は行われなかった症例)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	7	6.31%	2	3.64%	8	11.94%	17	7.30%
2	ない	102	91.89%	50	90.91%	55	82.09%	207	88.84%
3	不明	2	1.80%	3	5.45%	4	5.97%	9	3.86%
	合計	111		55		67		233	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	6	2	4	12
4 症例			1	1
施設数	6	2	5	13

4-24.輸血後の高カリウム血症を予防するために診療科への注意喚起以外に特別な対策をしていますか 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	診療科への注意喚起以外に特別な対策をしていない	835	72.99%	165	58.93%	63	31.19%	1063	65.38%
2	照射直後の日赤血供給を依頼する	255	22.29%	74	26.43%	70	34.65%	399	24.54%
3	院内で使用直前に照射する	13	1.14%	31	11.07%	72	35.64%	116	7.13%
4	カリウム除去フィルターを使用する	47	4.11%	29	10.36%	62	30.69%	138	8.49%
5	その他	54	4.72%	10	3.57%	13	6.44%	77	4.74%
	回答施設合計	1144		280		202		1626	

設問 4-24 その他の理由.xls 参照

4-25.問 4-24 で(2),(3),(4),(5)と回答された施設にお尋ねいたします。どのような疾患に輸血後の高カリウム血症対策を行なっていますか 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	すべての疾患	102	31.48%	24	19.83%	8	5.23%	134	22.41%
2	新生児の輸血	12	3.70%	43	35.54%	116	75.82%	171	28.60%
3	腎不全患者の輸血	199	61.42%	87	71.90%	101	66.01%	387	64.72%
4	急速大量輸血	22	6.79%	8	6.61%	32	20.92%	62	10.37%
5	心臓手術の輸血	11	3.40%	6	4.96%	36	23.53%	53	8.86%
6	その他	31	9.57%	9	7.44%	8	5.23%	48	8.03%
	回答施設合計	324		121		153		598	

設問 4-25 その他の理由.xls 参照

4-26.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に輸血後高カリウム血症の発生報告がありましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	9	0.75%	2	0.71%	4	1.96%	9	0.75%
2	いいえ	1196	99.25%	280	99.29%	200	98.04%	1196	99.25%
	合計	1205		282		204		1205	

4-27. 問 4-26 で(1)はいと回答された施設にお尋ねします。輸血後高カリウム血症の発生件数とその中の心停止症例は

輸血後高カリウム血症総件数

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 件	6	1	3	10
2 件	2	1		3
3 件			1	1
施設数	8	2	4	14

輸血後高カリウム血症総数中の心停止総件数

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 件			1	1
施設数			1	1

4-28.ABO 異型輸血以外の重篤な溶血性副作用が、過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に発生しましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	0.25%	4	1.39%	5	2.42%	12	0.70%
2	ない	1213	99.75%	284	98.61%	202	97.58%	1699	99.30%
	合計	1216		288		207		1711	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	2	3	3	8
2 症例			2	2
施設数	2	3	5	10

4-29.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に輸血関連急性肺障害(TRALI)を経験されましたか(疑い例も含む)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	0.25%	13	4.59%	32	15.53%	48	2.82%
2	ない	1212	99.75%	270	95.41%	174	84.47%	1656	97.18%
	合計	1215		283		206		1704	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	3	12	29	44
2 症例			1	1
3 症例			1	1
施設数	1	12	31	46

4-30.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で重症アレルギー反応が、発生しましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	0.49%	21	7.34%	30	14.63%	57	3.35%
2	ない	1207	99.51%	265	92.66%	175	85.37%	1647	96.65%
	合計	1213		286		205		1704	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	4	14	14	32
2 症例	1	2	6	9
3 症例		3	4	7
4 症例			1	1
5 症例	1		1	2
8 症例			1	1
16 症例			1	1
施設数	6	19	28	53

4-31.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で輸血後 GVHD が発生しましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	1214	100.00%	283	100.00%	209	100.00%	1706	100.00%
	合計	1214		283		209		1706	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

該当なし

4-32.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で輸血による重篤な細菌感染症を経験されましたか(疑い例も含む)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	2	0.70%	1	0.48%	3	0.18%
2	ない	1217	100.00%	284	99.30%	207	99.52%	1708	99.82%
	合計	1217		286		208		1711	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例		2	1	3
施設数		2	1	3

4-33.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で上記(問 4-28～問 4-32)以外の重篤な副作用が発生しましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	6	0.50%	4	1.40%	4	1.97%	14	0.83%
2	ない	1199	99.50%	281	98.60%	199	98.03%	1679	99.17%
	合計	1205		285		203		1693	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	4	3	3	10
2 症例	1			1
3 症例	1		1	2
施設数	6	3	4	13

4) 輸血前後の感染症検査について

4-34.輸血前に HBV、HCV、HIV に関する感染症マーカーの検査(輸血前感染症検査)を行うことを知っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	1164	94.33%	282	98.60%	207	100.00%	1653	95.72%
2	知らない	70	5.67%	4	1.40%	0	0.00%	74	4.28%
	合計	1234		286		207		1727	

4-35.輸血前に HBV、HCV、HIV に関する感染症マーカーの検査(輸血前感染症検査)を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	820	66.34%	196	68.53%	152	73.08%	1168	67.51%
2	行っていない	416	33.66%	90	31.47%	56	26.92%	562	32.49%
	合計	1236		286		208		1730	

4-36.問 4-35 で「(2)行っていない」場合、行っていない場合理由はなんですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険で査定されるため	61	15.48%	3	3.49%	2	3.57%	66	12.31%
2	輸血前検体保存を行っているため	211	53.55%	73	84.88%	50	89.29%	334	62.31%
3	行う意味がないため	8	2.03%	0	0.00%	0	0.00%	8	1.49%
4	その他	114	28.93%	10	11.63%	4	7.14%	128	23.88%
	合計	394		86		56		536	

4-37.問 4-35 で「(1)行っている」の場合、貴院で実施している感染症検査の項目は 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原(*)	149	98.68%	190	97.94%	149	98.68%	1131	98.43%
2	HBs 抗体(*)	92	60.93%	103	53.09%	92	60.93%	529	46.04%
3	HBc 抗体(*)	82	54.30%	76	39.18%	82	54.30%	398	34.64%
4	HBe 抗原	5	3.31%	4	2.06%	5	3.31%	27	2.35%
5	HBe 抗体	1	0.66%	3	1.55%	1	0.66%	19	1.65%
6	HBV-DNA 核酸増幅検査	1	0.66%	3	1.55%	1	0.66%	10	0.87%
7	HCV 抗体(*)	149	98.68%	189	97.42%	149	98.68%	1111	96.69%
8	HCV コア抗原(*)	75	49.67%	65	33.51%	75	49.67%	358	31.16%
9	HCV-RNA 核酸増幅検査	102	67.55%	2	1.03%	102	67.55%	10	0.87%
10	HIV 抗体(*)	20	13.25%	103	53.09%	20	13.25%	448	38.99%
11	HIV 抗原／HIV 抗体同時測定	149	98.68%	28	14.43%	149	98.68%	141	12.27%
	回答施設合計	151		194		151		1149	

(*)厚生労働省の推奨する検査項目

4-38.問 4-35 で「(1)行っている」場合、輸血前感染症検査を実施するにあたって取り組んでいることは

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会、医長会議などで輸血前感染症検査の実施を周知徹底している	105	13.17%	26	13.47%	25	16.78%	156	13.70%
2	輸血指示があった際に、輸血前感染症検査が行われていないときは検査の実施を促している	88	11.04%	19	9.84%	13	8.72%	120	10.54%
3	必要な検査項目をセットで組んでいる（入院時検査、術前検査、輸血前検査など）	504	63.24%	107	55.44%	83	55.70%	694	60.93%
4	特別な取り組みはしていない（輸血前検体保管をしている）	69	8.66%	34	17.62%	23	15.44%	126	11.06%
5	特別な取り組みはしていない（輸血前検体保管をしていない）	19	2.38%	3	1.55%	5	3.36%	22	1.93%
6	その他	12	1.51%	4	2.07%	25	16.78%	21	1.84%
	合計	797		193		149		1139	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 4-38 その他詳細.xls 参照

4-39.厚生労働省の推奨項目 全てを含む 輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

* 【厚生労働省の推奨項目】 HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体、HCV 抗体、HCV コア抗原、HIV 抗体

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	387	49.43%	78	41.49%	52	35.86%	517	46.33%
2	21～40%	21	2.68%	7	3.72%	9	6.21%	37	3.32%
3	41～60%	21	2.68%	10	5.32%	12	8.28%	43	3.85%
4	61～80%	16	2.04%	11	5.85%	4	2.76%	31	2.78%
5	81～100%	149	19.03%	35	18.62%	16	11.03%	200	17.92%
6	調査したことがない	189	24.14%	47	25.00%	52	35.86%	288	25.81%
	合計	783		188		145		1116	

厚生労働省の推奨項目 <u>全てを含む</u> 輸血前検査の実施率実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	46	7.1	100.0	90.77	4175.5	23.55
300～499 床	13	45.8	100.0	83.87	1090.3	19.99
500 床以上	13	2.0	100.0	51.17	665.2	36.83
全体	72	2.0	100.0	82.38	5931.0	29.54

4-40.厚生労働省の推奨項目の 一つ以上を含む 輸血前検査の実施率は、およそどのくらいですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	9	1.15%	4	2.15%	4	2.82%	17	1.53%
2	21～40%	10	1.27%	2	1.08%	2	1.41%	14	1.26%
3	41～60%	14	1.78%	7	3.76%	5	3.52%	26	2.33%
4	61～80%	37	4.71%	13	6.99%	16	11.27%	66	5.92%
5	81～100%	605	76.97%	123	66.13%	75	52.82%	803	72.08%
6	調査したことがない	111	14.12%	37	19.89%	40	28.17%	188	16.88%
	合計	786		186		142		1114	

厚生労働省の推奨項目の一つ以上を含む輸血前検査の実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	116	7.1	100.0	98.14	11383.9	10.07
300～499 床	20	90.0	100.0	98.61	1972.1	2.51
500 床以上	15	20.0	100.0	84.09	1261.4	24.92
全体	151	7.1	100.0	96.80	14617.4	12.43

4-41.輸血前感染症検査の保険請求について

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険請求している。今まで査定はない。	318	42.80%	83	48.54%	70	51.85%	471	44.90%
2	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求していない。	50	6.73%	9	5.26%	11	8.15%	70	6.67%
3	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求し復活した。	42	5.65%	12	7.02%	6	4.44%	60	5.72%
4	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求したが復活していない。	15	2.02%	3	1.75%	4	2.96%	22	2.10%
5	輸血前感染症検査としては、保険請求していない。	283	38.09%	60	35.09%	34	25.19%	377	35.94%
6	その他	35	4.71%	4	2.34%	10	7.41%	49	4.67%
	合計	743		171		135		1049	

4-42.輸血前感染症検査を行えないときは、輸血前の患者血液検体を保存すること(輸血前検体保存)を知っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	1021	84.66%	275	97.52%	206	100.00%	1502	88.67%
2	知らない	185	15.34%	7	2.48%	0	0.00%	192	11.33%
	合計	1206		282		206		1694	

4-43.輸血前検体保存について、貴院の実情に一番近いものは

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	857	70.48%	263	91.64%	203	97.60%	1323	77.32%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	111	9.13%	8	2.79%	3	1.44%	122	7.13%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	110	9.05%	9	3.14%	1	0.48%	120	7.01%
4	保存していない	138	11.35%	7	2.44%	1	0.48%	146	8.53%
	合計	1216		287		208		1711	

(1)又は(2)の場合、保存期間は何ヶ月ですか

保存期間	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1.0～5.9 ヶ月	73	7	3	83
6.0 ヶ月	27	6	1	34
6.1～11.9 ヶ月	2	1	3	6
12.0 ヶ月	63	12	7	82
12.1～23.9 ヶ月	5	3	2	10
24.0 ヶ月	295	118	91	504
24.1～35.9 ヶ月	1	4	3	8
36.0 ヶ月	24	10	19	53
36.1～47.9 ヶ月		1		1
48.0 ヶ月	12	4	6	22
48.1～59.9 ヶ月	1	1	1	3
60.0 ヶ月	30	8	6	44
60.1～71.9 ヶ月	1			1
72.0 ヶ月	2	2		4
72.0 ヶ月以上	5	2	4	11
永久保存	88	12	8	108
施設数	629	191	154	974

4-44.問 4-43 で(1)又は(2)の場合、輸血前検体保存の方法について貴院の実情に一番近いものは

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査や交差適合試験の残りをそのまま保存している	698	73.01%	134	50.00%	84	40.78%	916	64.06%
2	血液型検査や交差適合試験の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	120	12.55%	68	25.37%	46	22.33%	234	16.36%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	83	8.68%	47	17.54%	58	28.16%	188	13.15%
4	その他	55	5.75%	19	7.09%	18	8.74%	92	6.43%
	合計	698	73.01%	268		206		1430	

4-45.輸血後一定期間を経てから HBV、HCV、HIV に関する感染症マーカーの検査(輸血後感染症検査)を行うことを知っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	1091	90.24%	278	97.54%	207	99.52%	1576	92.60%
2	知らない	118	9.76%	7	2.46%	1	0.48%	126	7.40%
	合計	1209		285		208		1702	

4-46.輸血後に HBV、HCV、HIV に関する感染症マーカーの検査(輸血後感染症検査)を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	503	41.30%	178	63.57%	176	85.85%	857	50.32%
2	行っていない	715	58.70%	102	36.43%	29	14.15%	846	49.68%
	合計	1218		280		205		1703	

4-47.問 4-46 で「(1)行っている」場合、感染症検査している検査項目は 複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs 抗原	210	42.94%	44	25.29%	67	38.07%	321	38.26%
2	HBs 抗体	47	9.61%	12	6.90%	15	8.52%	74	8.82%
3	HBc 抗体	19	3.89%	8	4.60%	9	5.11%	36	4.29%
4	HBe 抗原	3	0.61%	2	1.15%	1	0.57%	6	0.72%
5	HBe 抗体	2	0.41%	1	0.57%	0	0.00%	3	0.36%
6	HBV-DNA 核酸増幅検査(*)	267	54.60%	128	73.56%	113	64.20%	508	60.55%
7	HCV 抗体	195	39.88%	44	25.29%	62	35.23%	301	35.88%
8	HCV コア抗原(*)	288	58.90%	134	77.01%	121	68.75%	543	64.72%
9	HCV-RNA 核酸増幅検査	13	2.66%	1	0.57%	1	0.57%	15	1.79%
10	HIV 抗体(*)	268	54.81%	122	70.11%	139	78.98%	529	63.05%
11	HIV 抗原／HIV 抗体同時測定	108	22.09%	43	24.71%	30	17.05%	181	21.57%
	回答施設合計	489		174		176		839	

(*)厚生労働省の推奨する検査項目

4-48.輸血後感染症検査を受検して貰うための貴院の取り組みについてあてはまる方法を全て選択して下さい

複数回答

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す	298	60.57%	117	66.86%	117	66.48%	532	63.11%
2	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する（書面なし）	52	10.57%	12	6.86%	14	7.95%	78	9.25%
3	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す	111	22.56%	51	29.14%	66	37.50%	228	27.05%
4	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する（書面なし）	29	5.89%	7	4.00%	8	4.55%	44	5.22%
5	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、患者宛に直接郵便などで通知している	46	9.35%	15	8.57%	6	3.41%	67	7.95%
6	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、主治医宛に文書などで通知している	88	17.89%	27	15.43%	27	15.34%	142	16.84%
7	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、診療科宛に文書などで通知している	67	13.62%	18	10.29%	14	7.95%	99	11.74%
8	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、輸血療法委員会、医局会議などにリストを提出している	44	8.94%	5	2.86%	7	3.98%	56	6.64%
9	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、電子カルテ上にアラートが出る	17	3.46%	20	11.43%	24	13.64%	61	7.24%
10	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、医師が判断し検査を行う（特に通知は行わず医師にゆだねる）	88	17.89%	37	21.14%	28	15.91%	153	18.15%
11	特に取り組んでいない	5	1.02%	2	1.14%	3	1.70%	10	1.19%
12	その他	38	7.72%	5	2.86%	8	4.55%	51	6.05%
	回答施設合計	492		175		176		843	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 4-48 その他詳細.xls を参照

4-49.輸血後感染症検査を受検して貰うための貴院の取り組みのうち、最も効果的と考えている方法を一つ選択して下さい

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す	155	32.91%	41	23.98%	36	22.64%	232	28.96%
2	輸血の同意取得時に、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する（書面なし）	9	1.91%	1	0.58%	1	0.63%	11	1.37%
3	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように記載された書面を渡す	70	14.86%	39	22.81%	47	29.56%	156	19.48%
4	輸血後の患者に対し、退院時などに、輸血後感染症検査を受検するように口頭で説明する(書面なし)	8	1.70%	1	0.58%	0	0.00%	9	1.12%
5	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、患者宛に直接郵便などで通知している	55	11.68%	18	10.53%	11	6.92%	84	10.49%
6	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、主治医宛に文書などで通知している	55	11.68%	17	9.94%	15	9.43%	87	10.86%
7	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、診療科宛に文書などで通知している	27	5.73%	12	7.02%	3	1.89%	42	5.24%
8	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、輸血療法委員会、医局会議などにリストを提出している	22	4.67%	2	1.17%	0	0.00%	24	3.00%
9	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、電子カルテ上にアラートが出る	24	5.10%	26	15.20%	32	20.13%	82	10.24%
10	輸血後感染症検査を行うのに適切な時期がきたら、医師が判断し検査を行う（特に通知は行わず医師にゆだねる）	28	5.94%	3	1.75%	3	1.89%	34	4.24%
11	特に取り組んでいない	11	2.34%	10	5.85%	6	3.77%	27	3.37%
12	その他（問 4-44 で「その他」の場合のみ選択できます）	7	1.49%	1	0.58%	5	3.14%	13	1.62%
	合計	471		171		159		801	

4-50.厚生労働省の推奨項目 全てを含む 輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

＊【厚生労働省の推奨項目】 HBV-DNA 核酸増幅検査、HCV コア抗原、HIV 抗体

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	242	50.63%	76	44.19%	74	43.27%	392	47.75%
2	21～40%	36	7.53%	26	15.12%	28	16.37%	90	10.96%
3	41～60%	37	7.74%	8	4.65%	8	4.68%	53	6.46%
4	61～80%	24	5.02%	10	5.81%	5	2.92%	39	4.75%
5	81～100%	46	9.62%	6	3.49%	2	1.17%	54	6.58%
6	調査したことがない	93	19.46%	46	26.74%	54	31.58%	193	23.51%
	合計	478		172		171		821	

厚生労働省の推奨項目 <u>全てを含む</u> 輸血後検査の実施率実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	27	3.0	100.0	58.41	1577.0	35.48
300～499 床	12	7.6	80.0	36.91	442.9	23.87
500 床以上	18	2.1	81.9	26.96	485.3	23.59
全体	57	2.1	100.0	43.96	2505.2	32.70

4-51.厚生労働省の推奨項目の 一つ以上を含む 輸血後検査の実施率は、およそどのくらいですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0～20%	116	24.63%	50	28.74%	42	25.30%	208	25.65%
2	21～40%	58	12.31%	27	15.52%	29	17.47%	114	14.06%
3	41～60%	49	10.40%	14	8.05%	20	12.05%	83	10.23%
4	61～80%	36	7.64%	14	8.05%	9	5.42%	59	7.27%
5	81～100%	122	25.90%	16	9.20%	7	4.22%	145	17.88%
6	調査したことがない	90	19.11%	53	30.46%	59	35.54%	202	24.91%
	合計	471		174		166		811	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

厚生労働省の推奨項目の一つ以上を含む輸血後検査の実施率						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
300 床以下	52	2.4	100.0	65.47	3404.4	36.21
300～499 床	13	7.6	100.0	50.08	651.0	27.34
500 床以上	13	3.8	100.0	39.55	514.1	30.79
全体	78	2.4	100.0	58.58	4569.5	35.19

4-52.輸血後感染症検査の保険請求について

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	保険請求している。今まで査定はない。	307	67.77%	114	70.37%	113	72.90%	534	69.35%
2	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求していない。	36	7.95%	11	6.79%	12	7.74%	59	7.66%
3	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求し復活した。	32	7.06%	15	9.26%	5	3.23%	52	6.75%
4	保険請求している。査定はあったが、査定に対して再審査を請求したが復活していない。	16	3.53%	5	3.09%	7	4.52%	28	3.64%
5	保険請求していない。	34	7.51%	6	3.70%	5	3.23%	45	5.84%
6	その他	28	6.18%	11	6.79%	13	8.39%	52	6.75%
	合計	453		162		155		770	

4-53.輸血前感染症検査と輸血後感染症検査の今後のあり方についてお聞きます

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前感染症検査、輸血前検体保存、輸血後感染症検査を現状のまま行う	527	46.89%	128	47.76%	105	51.47%	760	47.62%
2	輸血前感染症検査は省略し、輸血前検体保存と輸血後感染症検査を行う	156	13.88%	81	30.22%	71	34.80%	308	19.30%
3	輸血後感染症検査のみ行う	32	2.85%	0	0.00%	3	1.47%	35	2.19%
4	輸血前検体保存のみ行う	209	18.59%	39	14.55%	17	8.33%	265	16.60%
5	全て行わない	27	2.40%	3	1.12%	0	0.00%	30	1.88%
6	その他	173	15.39%	17	6.34%	8	3.92%	198	12.41%
	合計	1124		268		204		1596	

4-54.輸血前後の感染症検査(輸血前検体保管を含む)について、問題点や改善点あるとすればどのような点ですか。重要と考えられるものを5つまでお選びください。

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	費用対効果 (cost effectiveness) の検証	532	46.38%	148	53.62%	119	58.05%	799	49.08%
2	輸血後受診予定がない患者、他院への紹介患者などの輸血後検査実施体制の構築	659	57.45%	199	72.10%	154	75.12%	1012	62.16%
3	輸血後検査陽転症例精査時の血液センターの対応	118	10.29%	37	13.41%	23	11.22%	178	10.93%
4	査定されることへの対策	357	31.12%	82	29.71%	61	29.76%	500	30.71%
5	診療報酬点数への収載	567	49.43%	132	47.83%	100	48.78%	799	49.08%
6	国の財政援助が必要	190	16.56%	51	18.48%	36	17.56%	277	17.01%
7	行政の広報活動が必要	186	16.22%	44	15.94%	36	17.56%	266	16.34%
8	継続的に輸血を行っている患者、頻回に輸血を行っている患者への対応	554	48.30%	152	55.07%	109	53.17%	815	50.06%
9	小児への対応	24	2.09%	19	6.88%	42	20.49%	85	5.22%
10	終末期患者への対応	221	19.27%	45	16.30%	30	14.63%	296	18.18%
11	医師の理解不足	321	27.99%	102	36.96%	86	41.95%	509	31.27%
12	病院経営者の理解不足	99	8.63%	13	4.71%	7	3.41%	119	7.31%
13	感染症検査項目が多い(検査項目の絞り込みが必要)	225	19.62%	46	16.67%	25	12.20%	296	18.18%
14	感染症検査項目が少ない(HTLV-1 などの検査項目追加が必要)	50	4.36%	5	1.81%	3	1.46%	58	3.56%
15	その他	28	2.44%	6	2.17%	8	3.90%	42	2.58%
	回答施設合計	1147		276		205		1628	

「その他」の場合、詳細を記入して下さい

設問 4-54 その他詳細.xls 参照

4)－A 輸血とHBV 感染について

4-55.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に輸血後感染症検査で HBV-DNA 又は HBs 抗原が陽性であった症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	14	1.17%	17	5.96%	21	10.19%	52	3.08%
2	ない	703	58.78%	190	66.67%	154	74.76%	1047	62.06%
3	把握していない	479	40.05%	78	27.37%	31	15.05%	588	34.85%
	合計	1196				206		1687	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	9	11	8	28
2 症例	1	2	1	4
3 症例		1		1
6 症例			2	2
12 症例			2	2
33 症例	1			1
41 症例			1	1
施設数	11	14	14	39

4-56.問 4-55 で「(1)ある」場合、輸血前から HBV 感染者であった症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	10	71.43%	12	70.59%	13	61.90%	35	67.31%
2	ない	4	28.57%	5	29.41%	8	38.10%	17	32.69%
	合計	14		17		21		52	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	7	7	2	16
2 症例		1		1
3 症例		1		1
6 症例			1	1
11 症例			1	1
12 症例			1	1
41 症例			1	1
施設数	7	9	6	22

4-57.問 4-55 で「(1)ある」場合、輸血による HBV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	2	9.52%	2	4.00%
2	ない	12	100.00%	17	100.00%	19	90.48%	48	96.00%
	合計	12		17		21		50	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例			2	2
施設数			2	2

4-58.問 4-55 で「(1)ある」場合、HBV 再活性化と診断された症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	4	33.33%	4	23.53%	7	36.84%	15	31.25%
2	ない	8	66.67%	13	76.47%	12	63.16%	33	68.75%
	合計	12		17		19		48	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	3	4	5	12
2 症例			1	1
施設数	3	4	6	13

4-59.問 4-55 で「(1)ある」場合、上記(問 4-56、57、58)に該当しない症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	10.00%	4	25.00%	1	5.88%	6	13.95%
2	ない	9	90.00%	12	75.00%	16	94.12%	37	86.05%
	合計	10		16		17		43	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例		4	1	5
施設数		4	1	5

4)－B 輸血と HCV 感染について

4-60.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に輸血後感染症検査で HCV コア抗原又は HCV 抗体又は HCV-RNA が陽性であった症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	20	1.67%	14	4.95%	15	7.28%	49	2.91%
2	ない	685	57.32%	190	67.14%	157	76.21%	1032	61.28%
3	把握していない	490	41.00%	79	27.92%	34	16.50%	603	35.81%
	合計	1195		283		206		1684	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	7	4	5	16
2 症例	3	2		5
3 症例	2			2
4 症例		2		2
5 症例	2	1		3
6 症例		1	1	2
16 症例	1			1
36 症例	1			1
53 症例			1	1
145 症例			1	1
施設数	16	10	8	34

4-61.問 4-60 で「(1)ある」場合、輸血前から HCV 感染者と分かっていた症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	17	85.00%	10	71.43%	12	80.00%	39	79.59%
2	ない	3	15.00%	4	28.57%	3	20.00%	10	20.41%
	合計	20		14		15		49	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	3	1	2	6
2 症例	4	1	1	6
3 症例	1			1
4 症例		2		2
5 症例	2	1		3
6 症例		1	1	2
16 症例	1			1
52 症例			1	1
145 症例			1	1
施設数	11	6	6	23

4-62.問 4-60 で「(1)ある」場合、輸血による HCV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	20	100.00%	14	100.00%	13	100.00%	47	100.00%
	合計	20		14		13		47	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい 該当無し

4-63.問 4-60 で「(1)ある」場合、上記(問 4-61、62)に該当しない症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	16.67%	3	21.43%	3	23.08%	9	20.00%
2	ない	15	83.33%	11	78.57%	10	76.92%	36	80.00%
	合計	18		14		13		45	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例	3	2	2	7
2 症例		1		1
施設数	3	3	2	8

4)－C 輸血と HIV 感染について

4-64.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)に輸血後感染症検査で HIV 抗体又は HIV-RNA が陽性であった症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	1	0.36%	2	0.98%	3	0.18%
2	ない	619	51.76%	201	71.53%	169	82.44%	989	58.80%
3	把握していない	577	48.24%	79	28.11%	34	16.59%	690	41.02%
	合計	1196		281		205		1682	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例		1	1	2
3 症例			1	1
施設数		1	2	3

4-65.問 4-64 で「(1)ある」場合、輸血前から HIV 感染者と分かっていた症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある			0	0.00%	2	100.00%	2	66.67%
2	ない			1	100.00%	0	0.00%	1	33.33%
	合計			1		2		3	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例			1	1
3 症例			1	1
施設数			2	2

4-66.問 4-64 で「(1)ある」場合、輸血による HIV 感染症伝播が証明された症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある			0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない			1	100.00%	2	100.00%	3	100.00%
	合計			1		2		3	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい 該当無し

4-67.問 4-64 で「(1)ある」場合、上記(問 4-65、66)に該当しない症例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある			1	100.00%	0	0.00%	1	33.33%
2	ない			0	0.00%	2	100.00%	2	66.67%
	合計			1		2		3	

「(1)ある」場合、症例数を整数で記入して下さい

症例数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 症例		1		1
施設数		1		1

4)－D ヘモビジランスシステム(輸血患者の感染症伝播や副作用の全国監視体制)について

4-68.日本でのヘモビジランスについてどう考えますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	必要な体制であり、是非参加したい	27	2.47%	19	7.34%	31	15.90%	77	4.97%
2	必要な体制であり、参加を検討したい	307	28.06%	129	49.81%	101	51.79%	537	34.69%
3	必要な体制だが、参加は困難である	662	60.51%	101	39.00%	56	28.72%	819	52.91%
4	必要性を感じないが参加を検討したい	11	1.01%	1	0.39%	0	0.00%	12	0.78%
5	必要性を感じないため参加は困難である	41	3.75%	2	0.77%	1	0.51%	44	2.84%
6	その他	46	4.20%	7	2.70%	6	3.08%	59	3.81%
	合計	1094		259		195		1548	

5) 血液センターの集約化について

4-69.全国規模で血液センターの集約化(統合)が行われていることをご存じですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	知っている	820	66.08%	266	92.36%	207	99.04%	1293	74.40%
2	知らない	421	33.92%	22	7.64%	2	0.96%	445	25.60%
	合計	1241		288		209		1738	

【2009 年輸血業務・血液製剤年間使用量に関する総合的調査】

4-70.血液センターには、採血部門、製剤部門、検査部門、供給部門がありますが、どの部門が集約化の対象になっているかご存じですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	採血部門	1	0.12%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.08%
2	製剤部門	18	2.25%	3	1.15%	0	0.00%	21	1.66%
3	検査部門	92	11.49%	21	8.02%	7	3.45%	120	9.48%
4	供給部門	18	2.25%	1	0.38%	0	0.00%	19	1.50%
5	採血部門と製剤部門	7	0.87%	4	1.53%	4	1.97%	15	1.18%
6	採血部門と検査部門	2	0.25%	0	0.00%	1	0.49%	3	0.24%
7	採血部門と供給部門	2	0.25%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.16%
8	製剤部門と検査部門	278	34.71%	131	50.00%	128	63.05%	537	42.42%
9	製剤部門と供給部門	12	1.50%	0	0.00%	1	0.49%	13	1.03%
10	検査部門と供給部門	23	2.87%	10	3.82%	3	1.48%	36	2.84%
11	採血部門と製剤部門と検査部門	6	0.75%	5	1.91%	4	1.97%	15	1.18%
12	採血部門と製剤部門と供給部門	3	0.37%	0	0.00%	0	0.00%	3	0.24%
13	採血部門と検査部門と供給部門	0	0.00%	2	0.76%	0	0.00%	2	0.16%
14	製剤部門と検査部門と供給部門	96	11.99%	51	19.47%	29	14.29%	176	13.90%
15	全ての部門	35	4.37%	11	4.20%	10	4.93%	56	4.42%
16	わからない	208	25.97%	23	8.78%	16	7.88%	247	19.51%
	合計	801		262		203		1266	

4-71.血液センター集約化の効果はどのようなものとお考えですか(2つまで選択して下さい)

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液センターの財政が健全化する	323	42.22%	103	41.20%	76	38.38%	502	41.38%
2	血液製剤が改定薬事法の G M P（Good Manufacturing Practice：医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準）に適合するようになる	70	9.15%	25	10.00%	28	14.14%	123	10.14%
3	大規模化・自動化により、品質（検査精度・製剤の品質）が均一化し、業務が効率化する	406	53.07%	144	57.60%	107	54.04%	657	54.16%
4	製剤業務を集約することによって広域の需給管理が行いやすくなる（血液製剤が有効に利用される）	441	57.65%	142	56.80%	125	63.13%	708	58.37%
	回答施設合計	765		250		198		1213	

4-72.貴施設の属する地域はすでに集約化が行われていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	728	91.11%	245	94.23%	191	92.72%	1164	92.02%
2	いいえ	71	8.89%	15	5.77%	15	7.28%	101	7.98%
	合計	799		260		206		1265	

4-73.貴施設の属する地域の集約化状況は、現在どのようになっていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	検査業務のみ集約化	147	20.85%	64	26.23%	50	26.32%	261	22.91%
2	製剤業務のみ集約化	34	4.82%	2	0.82%	2	1.05%	38	3.34%
3	検査業務と製剤業務の集約化	328	46.52%	147	60.25%	125	65.79%	600	52.68%
4	わからない	196	27.80%	31	12.70%	13	6.84%	240	21.07%
	回答施設合計	705		244		190		1139	

4-74. 貴施設が属する地域の検査業務集約血液センターはどれですか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	北海道赤十字血液センター	27	3.80%	7	2.87%	6	3.16%	40	3.50%
2	宮城県赤十字血液センター	85	11.97%	31	12.70%	15	7.89%	131	11.45%
3	埼玉県赤十字血液センター	78	10.99%	38	15.57%	16	8.42%	132	11.54%
4	東京都赤十字血液センター	108	15.21%	49	20.08%	49	25.79%	206	18.01%
5	石川県赤十字血液センター	26	3.66%	7	2.87%	9	4.74%	42	3.67%
6	愛知県赤十字血液センター	53	7.46%	23	9.43%	29	15.26%	105	9.18%
7	大阪府赤十字血液センター	74	10.42%	32	13.11%	29	15.26%	135	11.80%
8	岡山県赤十字血液センター	47	6.62%	7	2.87%	7	3.68%	61	5.33%
9	広島県赤十字血液センター	41	5.77%	15	6.15%	11	5.79%	67	5.86%
10	福岡県赤十字血液センター	154	21.69%	32	13.11%	19	10.00%	205	17.92%
11	わからない	17	2.39%	3	1.23%	0	0.00%	20	1.75%
	回答施設合計	710		244		190		1144	

4-75. 血液センターの集約化により貴施設の輸血業務に影響がありましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	231	32.26%	106	43.44%	98	51.31%	435	37.79%
2	いいえ	485	67.74%	138	56.56%	93	48.69%	716	62.21%
	合計	716		244		191		1151	

4-76. 血液センターの集約化により製剤を供給する血液センター(あるいは供給出張所)と貴施設の距離は

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	137	61.71%	79	74.53%	76	80.00%	292	69.03%
2	近くなった	3	1.35%	0	0.00%	1	1.05%	4	0.95%
3	遠くなった	82	36.94%	27	25.47%	18	18.95%	127	30.02%
	合計	222		106		95		423	

4-77.輸血用血液の定期搬送回数は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	204	94.88%	103	98.10%	86	93.48%	393	95.39%
2	1 日あたり 1 回減少した	9	4.19%	2	1.90%	3	3.26%	14	3.40%
3	1 日あたり 2 回減少した	1	0.47%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.24%
4	1 日あたり 3 回以上減少した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	集約化前より増えた	1	0.47%	0	0.00%	3	3.26%	4	0.97%
	合計	215		105		92		412	

4-78.輸血用血液の定期搬送時間帯は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	161	73.52%	85	80.95%	62	65.96%	308	73.68%
2	早くなった	3	1.37%	0	0.00%	1	1.06%	4	0.96%
3	遅くなった	55	25.11%	20	19.05%	31	32.98%	106	25.36%
	合計	219		105		94		418	

4-79.悪天候、交通事情などで輸血用血液の搬送が滞る(遅配)ことがありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	133	62.15%	76	72.38%	66	70.21%	275	66.59%
2	多くなった	41	19.16%	19	18.10%	23	24.47%	83	20.10%
3	少なくなった	3	1.40%	0	0.00%	0	0.00%	3	0.73%
4	経験がないのでわからない	37	17.29%	10	9.52%	5	5.32%	52	12.59%
	合計	214		105		94		413	

4-80.医薬情報担当者の貴施設訪問回数は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	162	73.97%	79	75.96%	84	89.36%	325	77.94%
2	1 ヶ月あたり 1 回程度減少した	16	7.31%	12	11.54%	6	6.38%	34	8.15%
3	1 ヶ月あたり 2 回程度減少した	2	0.91%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.48%
4	1 ヶ月あたり 3 回程度以上減少した	1	0.46%	5	4.81%	1	1.06%	7	1.68%
5	経験がないのでわからない（以前から訪問はない）	25	11.42%	4	3.85%	0	0.00%	29	6.95%
6	集約化前より増加した	13	5.94%	4	3.85%	3	3.19%	20	4.80%
	合計	219		104		94		417	

4-81.赤血球濃厚液の緊急搬送を依頼した時の搬送時間は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	155	70.45%	81	77.14%	73	77.66%	309	73.75%
2	10 分程度延長した	9	4.09%	9	8.57%	6	6.38%	24	5.73%
3	20 分程度延長した	14	6.36%	3	2.86%	10	10.64%	27	6.44%
4	30 分程度延長した	10	4.55%	5	4.76%	3	3.19%	18	4.30%
5	40 分程度延長した	2	0.91%	1	0.95%	1	1.06%	4	0.95%
6	50 分程度延長した	1	0.45%	1	0.95%	0	0.00%	2	0.48%
7	1 時間程度延長した	2	0.91%	0	0.00%	0	0.00%	2	0.48%
8	1 時間～2 時間延長した	4	1.82%	1	0.95%	1	1.06%	6	1.43%
9	2 時間以上延長した	1	0.45%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.24%
10	経験がないのでわからない	15	6.82%	2	1.90%	0	0.00%	17	4.06%
11	集約化前より短縮した	7	3.18%	2	1.90%	0	0.00%	9	2.15%
	合計	220		105		94		419	

4-82.大量出血時の血液供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	129	58.90%	77	75.49%	72	75.79%	278	66.83%
2	供給にかかる時間は延長し、供給数は減少した	9	4.11%	5	4.90%	7	7.37%	21	5.05%
3	供給にかかる時間は延長し、供給数は増加した	8	3.65%	9	8.82%	12	12.63%	29	6.97%
4	供給にかかる時間は短縮し、供給数は減少した	4	1.83%	0	0.00%	0	0.00%	4	0.96%
5	供給にかかる時間は短縮し、供給数は増加した	1	0.46%	2	1.96%	1	1.05%	4	0.96%
6	経験がないのでわからない	68	31.05%	9	8.82%	3	3.16%	80	19.23%
	合計	219		102		95		416	

4-83.赤血球濃厚液(抗原陰性血)の当日依頼に対する供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	130	59.36%	66	64.08%	56	59.57%	252	60.58%
2	当日供給が受けられるようになった	9	4.11%	12	11.65%	13	13.83%	34	8.17%
3	当日供給が受けられなくなった	29	13.24%	17	16.50%	24	25.53%	70	16.83%
4	経験がないのでわからない	51	23.29%	8	7.77%	1	1.06%	60	14.42%
	合計	219		103		94		416	

4-84.Rh(－)赤血球濃厚液の当日依頼に対する供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	118	54.88%	73	70.87%	83	88.30%	274	66.50%
2	当日供給が受けられるようになった	8	3.72%	7	6.80%	4	4.26%	19	4.61%
3	当日供給が受けられなくなった	15	6.98%	11	10.68%	7	7.45%	33	8.01%
4	経験がないのでわからない	74	34.42%	12	11.65%	0	0.00%	86	20.87%
	合計	215		103		94		412	

4-85.血小板濃厚液の当日依頼に対する供給は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	144	66.36%	78	76.47%	72	76.60%	294	71.19%
2	当日供給が受けられるようになった	20	9.22%	18	17.65%	15	15.96%	53	12.83%
3	当日供給が受けられなくなった	21	9.68%	5	4.90%	7	7.45%	33	7.99%
4	経験がないのでわからない	32	14.75%	1	0.98%	0	0.00%	33	7.99%
	合計	217		102		94		413	

4-86.血小板濃厚液緊急依頼時の供給単位数は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	144	66.36%	82	78.10%	81	85.26%	307	73.62%
2	高単位数の供給が可能になった	1	0.46%	13	12.38%	7	7.37%	21	5.04%
3	高単位数の供給が不能になった	14	6.45%	7	6.67%	6	6.32%	27	6.47%
4	経験がないのでわからない	58	26.73%	3	2.86%	1	1.05%	62	14.87%
	合計	217		105		95		417	

4-87.血液センターへの依頼検査(自施設で同定不能な血液型など)の結果が報告されるまでの時間は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	45	20.36%	17	16.50%	33	35.11%	95	22.73%
2	1～2 日程度延長した	47	21.27%	42	40.78%	21	22.34%	110	26.32%
3	3～4 日程度延長した	24	10.86%	13	12.62%	17	18.09%	54	12.92%
4	5～7 日程度延長した	8	3.62%	5	4.85%	7	7.45%	20	4.78%
5	7 日以上延長した	4	1.81%	7	6.80%	2	2.13%	13	3.11%
6	経験がないのでわからない	92	41.63%	17	16.50%	11	11.70%	120	28.71%
7	集約化前より短縮した	1	0.45%	2	1.94%	3	3.19%	6	1.44%
	合計	221		103		94		418	

4-88.二次製剤(合成血、洗浄赤血球、解凍赤血球)の供給状況は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	51	23.50%	32	30.77%	46	48.42%	129	31.01%
2	供給までの所要時間が短縮した	1	0.46%	2	1.92%	3	3.16%	6	1.44%
3	供給までの所要時間が延長した	15	6.91%	17	16.35%	25	26.32%	57	13.70%
4	経験がないのでわからない	150	69.12%	53	50.96%	21	22.11%	224	53.85%
	合計	217		104		95		416	

4-89.集約化前に比べ二次製剤(合成血、洗浄赤血球、解凍赤血球)の供給を断られたことがあますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	1.99%	3	4.11%	7	9.21%	13	4.33%
2	ない	87	57.62%	58	79.45%	69	90.79%	214	71.33%
3	経験がないのでわからない	61	40.40%	12	16.44%	0	0.00%	73	24.33%
	合計	151		73		76		300	

「(1)ある」場合、具体的な製剤名を記入して下さい

製剤名	1～299 床	300～499 床	500 床以上	全体
WRC	1			1
解凍赤血球			1	1
合成血		1		1
洗浄血小板			2	2
洗浄赤血球	2		1	3
施設数	3	1	4	8

4-90.集約化前に血液センターの技術協力として実施していたことができなくなりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	22	18.80%	6	8.57%	5	6.17%	33	12.31%
2	いいえ	40	34.19%	28	40.00%	46	56.79%	114	42.54%
3	元々、技術協力契約を結んでいない	55	47.01%	36	51.43%	30	37.04%	121	45.15%
	合計	117		70		81		268	

「(1)はい」の場合、できなくなった技術協力の詳細を記入して下さい 設問 4-90 技術協力詳細.xls 参照

4-91.医師からの血液製剤に対する苦情は集約化前に比べ変わりましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	集約化前と変わらない	144	67.61%	80	78.43%	72	77.42%	296	72.55%
2	苦情が減った	1	0.47%	1	0.98%	0	0.00%	2	0.49%
3	苦情が増えた	22	10.33%	10	9.80%	11	11.83%	43	10.54%
4	経験がないのでわからない	46	21.60%	11	10.78%	10	10.75%	67	16.42%
	合計	213		102		93		408	

「(3)苦情が増えた」場合、具体的に内容を記入して下さい 設問 4-91 苦情内容詳細.xls 参照

4-92. 血液センターの集約化によって生じた業務上の問題点、困っている点などがありましたらご記入下さい

設問 4-92 業務上問題点.xls 参照

4-93. 血液センターの集約化を進めて行く必要がありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	112	64.74%	39	45.88%	45	56.25%	196	57.99%
2	いいえ	61	35.26%	46	54.12%	35	43.75%	142	42.01%
	合計	173		85		80		338	

「(2)いいえ」場合、理由を記入して下さい 設問4-93いいえの理由.xls 参照

6) 定点観測アンケート調査(洗浄置換・置換血小板について)

4-94.過去 1 年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で洗浄置換もしくは置換血小板輸血を行いましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	9	0.76%	15	5.36%	55	27.09%	79	4.72%
2	いいえ	1182	99.24%	265	94.64%	148	72.91%	1595	95.28%
	合計	1191		280		203		1674	

4-95.過去 1 年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で洗浄置換・置換血小板は何件実施されていますか

洗浄置換・置換血小板実施件数							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
院内調整	300 床以下	2	17	42	29.5	59	17.68
	300～499 床	3	22	30	27.33	82	4.62
	500 床以上	26	1	2896	165.04	4291	567.38
	全体	31	1	2896	142.97	4432	520.47
日赤血液センター調整	300 床以下	7	1	56	25.43	178	18.95
	300～499 床	11	1	58	18.09	199	19.68
	500 床以上	25	1	157	25.08	627	35.92
	全体	43	1	157	23.35	1004	29.84

4-96.洗浄置換・置換血小板の調製法はどのように実施していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	洗浄置換	6	85.71%	10	71.43%	31	67.39%	47	70.15%
2	置換	1	14.29%	4	28.57%	15	32.61%	20	29.85%
	合計	7		14		46		67	

4-97.置換液の種類についてお聞きます

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	M-sol	4	66.67%	8	61.54%	15	34.88%	27	43.55%
2	G-sol	1	16.67%	3	23.08%	9	20.93%	13	20.97%
3	A-sol	0	0.00%	1	7.69%	8	18.60%	9	14.52%
4	B-sol	0	0.00%	1	7.69%	1	2.33%	2	3.23%
5	その他	1	16.67%	0	0.00%	10	23.26%	11	17.74%
	合計	6		13		43		62	

4-98.調整工程における不具合はありましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	0	0.00%	3	7.32%	3	5.00%
2	いいえ	7	100.00%	12	100.00%	38	92.68%	57	95.00%
	合計	7		12		41		60	

「(1)はい」の場合、詳細を簡単に記入して下さい

設問 4-98 調整行程の不具合詳細.xls

4-99.洗浄置換あるいは置換血小板輸血において輸血副作用はありましたか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	0	0.00%	4	7.84%	4	5.33%
2	いいえ	9	100.00%	15	100.00%	47	92.16%	71	94.67%
	合計	9		15		51		75	

「(1)はい」の場合、件数を整数で記入して下さい

件数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 件			2	2
5 件			1	1
施設数			3	3

「(1)はい」の場合、副作用の種類を記入して下さい

副作用の種類	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
軽症アレルギー反応			2	2
掻痒感、蕁麻疹			1	1
施設数			3	3

4-100.臨床効果をどのように確認していますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	CCI	1	11.11%	3	20.00%	9	18.00%	13	17.57%
2	血小板数	7	77.78%	12	80.00%	35	70.00%	54	72.97%
3	未実施	1	11.11%	0	0.00%	6	12.00%	7	9.46%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合計	9		15		50		74	

4-101.過去 1 年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)臨床効果(輸血効果)の無かった事例はありますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	4	28.57%	7	15.91%	11	16.42%
2	いいえ	9	100.00%	10	71.43%	37	84.09%	56	83.58%
	合計	9		14		44		67	

「(1)はい」の場合、件数を整数で記入して下さい

件数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 件		1	1	2
2 件		1	1	2
4 件		1	1	2
5 件			1	1
施設数		3	4	7

4-102.洗浄血小板についてご意見が有れば記入して下さい

設問 4-102 洗浄血小板について意見.xls 参照

7)手術時輸血製剤詳細調査

4-103.手術時輸血製剤調査に協力できますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	140	12.88%	59	22.87%	71	38.17%	270	17.64%
2	いいえ	947	87.12%	199	77.13%	115	61.83%	1261	82.36%
	合計	1087		258		186		1531	

8) 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

4-104.過去1年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で輸血部または関連する部門で下記の成分採血、細胞処理、凍結、保存を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	9	0.82%	29	11.20%	110	57.89%	148	9.57%
2	いいえ	1089	99.18%	230	88.80%	80	42.11%	1399	90.43%
	合計	1098		259		190		1547	

4-105.過去 1 年間(2009 年 1 月～2009 年 12 月)で輸血部または関連する部門で問 4-104 以外の細胞処理(血管新生療法用の末梢血単核球分画分離など)、培養、凍結・保存を行っていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	3	0.31%	2	0.89%	14	7.87%	19	1.38%
2	いいえ	966	99.69%	223	99.11%	164	92.13%	1353	98.62%
	合計	969		225		178		1372	

「(1)はい」の場合、件数を整数で記入して下さい

件数	300 床以下	300～499 床	500 床以上	全体
1 件			4	4
3 件	1		2	3
6 件			1	1
9 件			1	1
16 件			3	3
18 件	1			1
24 件			1	1
30 件			1	1
41 件		1		1
施設数	2	1	13	16

「(1)はい」の場合、内容を具体的に記入して下さい

設問 4-105 内容詳細.xls 参照

4-106.輸血部または関連する部門以外で細胞プロセッシングが行われていますか

番号	項目	300 床以下		300～499 床		500 床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	2	0.21%	3	1.35%	18	10.47%	23	1.71%
2	いいえ	948	99.79%	220	98.65%	154	89.53%	1322	98.29%
	合計	950		223		172		1345	

「(1)はい」の場合、内容を具体的に記入して下さい

設問 4-106 内容詳細.xls 参照

「(1)はい」の場合、行っている部門を具体的に記入して下さい

設問 4-106 部門詳細.xls 参照